

第 7 次 余市町社会教育中期計画

計画期間：令和 6 年度～令和 10 年度

余市町教育委員会

目 次

第1章 第7次余市町社会教育中期計画の基本的観点	
計画策定の意義	1
計画の策定期間	1
計画の内容	1
第2章 社会教育推進のための目標	
余市町民憲章	2
第5次余市町総合計画の基本理念	2
第7次余市町社会教育推進目標	2
推進の重点	2
推進の視点	2
対象別推進目標	3
第3章 対象別における現状と課題	
1 青少年教育	4
2 成人教育	5
3 高齢者教育	6
4 子育て支援・家庭教育	7
5 条件整備	8
6 文化活動	9
7 文化財	10
8 スポーツ・健康づくり	11
第4章 対象別推進目標と振興方策	
1 青少年教育	12
2 成人教育	14
3 高齢者教育	16
4 子育て支援・家庭教育	18
5 条件整備	20
6 文化活動	22
7 文化財	24
8 スポーツ・健康づくり	25
参考資料	
「社会教育に関する利用者意識調査」集計結果の概要	29
諮問書	65
答申書	66
第7次余市町社会教育中期計画策定経過	67

第1章 第7次余市町社会教育中期計画の基本的観点

◎ 計画策定の意義

余市町は、令和4年度から「第5次余市町総合計画（令和4年度～令和13年度）」の「基本構想」と「基本計画」に基づき、まちづくりを進めております。

「基本構想」は、まちづくりを進めるうえでの最上位の概念として位置づけし、メインテーマと3つの指針を設定しております。

【メインテーマ】 「未来に向けて住みやすいまちをつくる」

【3つの指針】 〈次世代の可能性を引き出す〉

〈資源を最大限活用しまちを持続・発展させる〉

〈激動する社会に対応する〉

余市町教育委員会では、「第4次余市町総合計画（平成24年度～令和3年度）」の基本構想「住み良く安心して暮らせる元気なまち」をもとに、第6次余市町社会教育中期計画（令和元年度～令和5年度）を策定し、余市町の社会教育の推進に努めてまいりました。

この間、「余市町社会教育推進計画」を毎年策定し事業を実施しておりますが、人口減少や少子高齢化、感染症防止対策、技術革新の進展など社会は急速に変化しています。

人生100年時代を健康で心豊かに生きて行くため、社会の変化に対応できるよう生涯学習を通じて町民相互のつながりを重視した社会教育の取り組みを推進することが必要です。

本年度、その計画が最終年度を迎えるにあたり、余市町総合計画の基本構想を基盤に置き、本町の社会教育の現状と課題を踏まえ、生涯学習の観点に立った「第7次余市町社会教育中期計画」を策定するものです。

◎ 計画の策定期間

令和6年（2024年）4月から令和11年（2029年）3月までの5年間

◎ 計画の内容

この計画は、本年度まで推進してきた「第6次余市町社会教育中期計画」の反省と評価及びこれまでの現状と問題点を整理し、基本的課題を明らかにしたうえで、余市町民憲章・余市町総合計画との整合性を図り、生涯学習の観点に立った分野・対象領域ごとの推進目標及び施策を示したものです。

計画は、今後5年間の社会教育行政の役割を示すものですが、施策に対する具体的な取り組みや事業については、「具体的な施策」を基本に社会情勢の変化や町民のニーズ、財政状況などに応じて、弾力的に見直しを図りながら単年度推進計画において策定するものとします。

○対象・領域の区分

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------------|
| 1 青少年教育 | 2 成人教育 | 3 高齢者教育 | 4 子育て支援・家庭教育 |
| 5 条件整備 | 6 文化活動 | 7 文化財 | 8 スポーツ・健康づくり |

第2章 社会教育推進のための目標

余市町民憲章

わたしたちは、青い海と、香りゆたかな、果樹園の丘に囲まれた、余市町民です。

- 1、みんなで親切をつくし、きまりをまもり、明るいまちをつくりましょう
- 2、みんなで元気にはたらき、産業をさかんにし、豊かなまちをつくりましょう
- 3、みんなで自然に親しみ、健康で、美しいまちをつくりましょう
- 4、みんなで郷土を愛し、教養を高め、清新な文化のまちをつくりましょう
- 5、みんなで力をあわせ、希望あふれる、伸びゆくまちをつくりましょう

◇ 第5次余市町総合計画の基本理念 ◇

- 【メインテーマ】 「未来に向けて住みやすいまちをつくる」
【3つの指針】 〈次世代の可能性を引き出す〉
〈資源を最大限活用しまちを持続・発展させる〉
〈激動する社会に対応する〉

◇ 第7次余市町社会教育推進目標 ◇

町民相互のつながりを重視し、心豊かに健康な人生を送る社会教育の推進

◇ 推進の重点 ◇

- 1 家庭・学校・地域社会の連携による青少年の育成支援
- 2 心豊かに人生を送る学習機会の支援
- 3 心身の健康維持、増進につながる学習の支援
- 4 歴史・文化・自然環境を活用した幅広い学習の推進

◇ 推進の視点 ◇

- 1 多様化、高度化したニーズに対応する施策の実施
- 2 関係機関、団体との連携強化による施策の実現
- 3 住民の主体的な学習活動と社会貢献に対する支援
- 4 効率的な施設運営や効果的な情報提供による学習環境の整備

対 象 別 推 進 目 標

1 青少年教育

健全な心身と心豊かな人間性を育む環境の整備

2 成人教育

生涯学習の成果を地域活動や社会貢献できる環境整備の推進

3 高齢者教育

学習機会の推進と知識や経験を活かせる機会の拡充

4 子育て支援・家庭教育

読書を通じた活動による子育ておよび家庭教育の支援

5 条件整備

教養・文化・歴史・スポーツ各分野における支援体制の整備

6 文化活動

芸術文化活動の発表、鑑賞、創作機会の充実と環境整備の推進

7 文化財

文化財の適切な保存と活用・公開の推進

8 スポーツ・健康づくり

心身の健康維持・増進に資するスポーツの推進

第3章 対象別における現状と課題

1 青少年教育

【現状と課題】

少年期は、保護者のもとで多くの時間を過ごしながら、社会的マナーを身に付ける上で重要な時期となります。近年、核家族化や共働きの家庭が増加し、地域のつながりも希薄となるなか、地域の行事なども少子化による影響は避けられず、さまざまな体験交流の場が減少しています。

公民館においては、夏休みよいちっ子「書」の教室などを実施しましたが、令和2年度と令和3年度については、新型コロナウイルス感染症防止対策（以下「感染症防止対策」という。）により中止しました。令和4年度から新たに始めた、夏休みよいちっ子「絵画教室」は多数の参加者があり好評でした。中学生の子育て体験は、町内の保育所で事業を実施しましたが、令和2年度から令和4年度は、感染症防止対策により中止しました。自然体験活動事業は、協力団体が見つからず事業を実施することができませんでした。

図書館においては、感染症防止対策により事業を縮小し実施しました。令和2年度の子ども映画会は、感染症防止対策により中止しました。令和3年度以降は定員を減らして実施し、趣向を変えた取組として「ワタシノシアター」を実施しました。1日司書は、令和2年度と令和3年度については、感染症防止対策により中止しました。「めざせ！図書館の達人」として「図書館探検キッズ隊」を企画予定していましたが、趣向を変え「ニコット探偵団」を実施しました。町ALTの協力による「英語 de おはなし会」は、令和元年度から令和3年度は感染症防止対策により中止、令和4年度は英語の絵本の読み聞かせなどを実施しました。

放課後子ども教室は、登小学校で実施し、感染症防止対策により令和2年度は中止、令和3年度は一時休止期間を設けましたが、安全に配慮しながら放課後における児童の居場所を確保しています。学校支援地域本部事業は、学校の要望に応じた支援が行われていますが、支援ボランティアの登録者数の減少が続いている状況です。ウィークエンドサークル事業は、感染症防止対策により令和2年度から令和4年度は中止しました。

子どもたちの活動については、地域子ども会やスポーツ少年団などの活動がありますが、少子化や指導者不足などの問題を抱えており、今後、活動に対する支援が必要です。世代間交流の促進事業として、ジュニアリーダー事業、ウィークエンドサークル事業などを実施していますが、世代間交流となる事業内容の企画が必要です。

成人式は、令和2年度から感染症防止対策として、式典の動画配信も活用しました。

また、令和4年度から「二十歳のつどい」に名称を変更して実施しました。青年層のボランティア登録や社会教育事業全般への参加を促す取り組みが必要です。

2 成人教育

【現状と課題】

成人期は、社会的に自立し、家庭や職場、地域での責任を果たしていく時期です。学校教育で得た知識をもとに、幅広い視野に立った自己啓発の必要性を認識する時期でもあり、家庭や仕事、社会貢献など、様々な分野に対応する学習内容が求められています。

生涯学習については、公民館文化教室や健康・生涯スポーツ教室など各種講座を実施し、学習機会の提供に努めました。令和2年度と令和3年度は、感染症防止対策により一部の講座を中止しました。

公民館文化教室は、人気のある講座を継続するとともに、新たにヨガ教室、タブレット教室、護身術教室、スマホ教室などを行いました。しかし、継続講座は参加者の固定化、新規講座は、講師探しが困難であり課題となっています。

公民館、図書館、博物館の専門職員の連携により各種講座や教室を実施しました。

出前講座は、博物館が主体となり区会や町内各学校や各種団体などに積極的に出向き、所蔵資料を活用した講座を実施しました。町づくり、地域づくり事業の情報提供には、社会教育各施設の掲示板によるお知らせや声かけを行いました。

図書館サービスは、情報提供の役割も担いインターネットを活用した調査・学習にも対応しています。公衆無線 LAN の整備、電子図書館の導入、ホームページや SNS を活用した情報提供などを実施しました。今後も必要とされる図書館サービスを行います。

女性教育については、公民館において女性学級を実施し、令和2年度、令和3年度は感染症防止対策により一部の講座を中止しましたが、内容も多岐に亘り好評な事業です。

女性団体リーダー研修への協力については、相談を受けた際に助言を行いました。

学校支援地域本部事業及び放課後子ども教室は、感染症防止対策により令和2年度は事業を中止、令和3年度は一時休止期間を設けましたが、計画通りに実施しました。

どちらの事業も、ボランティアの登録者数の減少が続いている状況です。

生涯学習ボランティアについては、個人やサークル団体が、図書館・博物館・スポーツ事業において活躍しています。今後は、既存団体の協力を得てさまざまな事業の展開を図ることが必要です。

3 高齢者教育

【現状と課題】

我が国の平均寿命は、男性が81.05歳、女性が87.09歳（令和5年7月28日、厚生労働省、令和4年簡易生命表より）となっています。本町においても、令和5年8月の高齢化率が40.97%となっています。

平均寿命が延びると同時に、健康寿命も延びており、高齢者が元気で生きがいを持って生活できることは、地域活動においても大きな力となっています。

寿大学は、登録者数が徐々に減少し、役員および登録者の高齢化が進んでいます。学習内容は毎年見直しを行い、サークル活動も活発に行われ、高齢者にとって貴重な交流の場となっています。

シルバーアート展は、計画通りに実施しましたが、出品者や出品数が減少傾向にあります。長寿はりきり運動会は、感染症防止対策により令和2年度以降は中止しています。今後の開催については、関係団体と協議・検討が必要です。

学校支援ボランティアは、学校支援地域本部事業に登録した個人及び団体が、町内の小中学校において活動していますが、広報活動を強化し支援ボランティアの発掘が必要です。

学芸員による世代間交流事業は、本町の生活文化伝承事業として高齢者向け事業、区会行事や町内小中学校・高校において出前講座を実施しました。世代間の交流となる企画が必要です。

生活文化伝承活動は、博物館において町内の歴史資料を積極的に収集・保存し、資料を活用して講座や出前事業を実施し伝統文化の奨励に努めました。

高齢者の豊富な経験と知識を活かし、地域のイベントやボランティア活動への参加を促進します。

学習活動に係るイベント等の情報収集と提供を行いました。指導者やボランティアリストの整備が必要です。今後も、ボランティアの協力を得ながら町の民生部局と連携して各事業を継続して取り組みます。

4 子育て支援・家庭教育

【現状と課題】

家庭教育は、基本的な生活習慣や人間関係の基礎を養う上で重要であり、子どもの心身の発達に、家庭環境が大きな影響を与えます。

保護者および子ども達が、子どもの望ましい生活習慣（「早寝、早起き、朝ごはん」や学習時間、読書時間、運動時間の確保など）に対する関心や意識を高めるとともに、その改善や定着を目的として生活リズムチェックシートの活用について周知しています。

図書館において、本と家庭と親子をテーマとして「ぬいぐるみおとまりかい」や「おはなし会」を開催しました。令和2年度から令和4年度は、感染症防止対策により縮小実施となっています。

ブックスタート事業は、ボランティアの協力を得ながら、子育て・健康推進課と連携して実施しています。令和2年度から令和4年度は、感染症防止対策により絵本の読み聞かせを中止して縮小実施となっています。また、ブックスタート事業の後、一定の時間が経ってからの効果や進展状況を確認し補完するためのフォローアップ対策も実施しています。

男性の育児参加促進として、図書館において「パパ・ママとえほんであそぼう！」を開催しましたが、令和2年度、令和3年度は、感染症防止対策により資料提供のみとなっています。

子育てサークルとの関わりは、担当課と連携し支援の強化が必要です。

図書館において、親子の体験事業を多く実施しています。また、町内の保育所で行っている中学生の子育てふれあい交流体験は、感染症防止対策により令和2年度から令和4年度は中止しました。

図書館「おはなし会」は、感染症防止対策により令和2年度から令和4年度の一部の期間を中止しました。ボランティアとの連携による活動については、継続することが必要です。

読書サークルやボランティアと連携したおはなし会やおたのしみ会は、好評を得ており、親子の憩いの場となっています。

学校や家庭でも読書を習慣とするため、「朝読」「家読」の啓発は、今後も継続していくことが必要です。

5 条件整備

【現状と課題】

現在は、高度情報化や少子高齢化など、社会は急速な変化の中に置かれ、正確な情報の見極めが難しい社会となっています。また過疎化は、地方における担い手不足など、地域が抱える課題が山積しています。これらの課題に当事者としての意識を持ち、行動できる地域住民の育成に向けた学習が求められています。

教育行政執行方針において、生涯学習社会の実現を目標として掲げていることから、生涯学習推進体制の整備に向けて、継続して検討していくことが必要です。

社会教育担当職員は、さまざまな研修やセミナーに出席をしていますが、各種委員においては、各種研修会やセミナーへの参加促進が必要です。

地域との教育ネットワークの整備については、学校運営協議会において意見・要望を把握しながら、その整備と活用を推進します。

民間指導者の発掘養成と活用については、中学校部活動の地域移行に向けた取り組みを、令和5年度より町内の総合型地域スポーツクラブへの委託により、中学校と調整を図りながら行っています。

社会教育施設においては、随時、学習相談に対応しています。ホームページや生涯学習だより・図書館だより・体育館だより・ミュージアムレターによる情報提供に努めます。また、SNSを活用し社会教育施設の情報を発信していますが、インターネット環境のない町民に向けた広報誌等の活用が必要です。

学校施設開放事業は継続実施され、各スポーツ団体において有効に活用されています。中学校部活動の地域移行に伴い、活用の拡大が見込まれます。

ウイークエンドサークル事業などについては、ボランティアの協力により各種事業を行っていますが、令和2年度以降は、感染症防止対策により中止しました。

各種事業のボランティアの人数を増やすため、広報活動と丁寧な説明が必要です。

文化財施設の管理運営方法は継続的に検討していますが、運上家と福原漁場については、修繕や再整備の必要性が高まっていることから、北海道教育委員会を通して、文化庁と大規模改修にむけた保存活用計画策定の取り組みを始めています。

社会教育施設の老朽化は懸案事項となっており、耐震診断や補強を含めた施設の整備改修については、余市町の公共施設に係わる計画等と整合性を図りながら、施設の維持を図ることが必要です。

6 文化活動

【現状と課題】

芸術文化は、創造性を育み、表現力を高め、多様性を感受できるなど、心豊かな活力のある社会の形成にとって重要な意義を持っています。

本町では、中央公民館を中心として芸術文化に関する事業を実施しており、文化の日にちなみ実施している文化祭は、文化協会と共催し公民館サークルや文化協会加盟団体が協力し実施している伝統的な事業ですが、令和2年度から令和4年度は、感染症防止対策により縮小実施となっています。参加団体は、高齢化と会員数の減少が課題となっています。日ごろの学習成果を発表することのできる機会であるとともに、町民にとって貴重な鑑賞機会となる大切な事業となっています。

近隣自治体の鑑賞機会の情報については、各社会教育施設においてポスター掲示などの広報活動に協力しています。

青少年の文化活動および部活動については、ソーラン太鼓少年団が活動していますが、部活動については、指導者の確保が大きな課題となっており、学校との連携が必要です。吹奏楽や合唱などの発表については、定期的に行われており、支援の拡充は継続して取り組む必要があります。世代間交流事業は、今後も継続実施に向けた取り組みが必要です。

図書館については、地域の情報拠点であり、情報を提供する図書館の重要性が高まっています。読書普及活動については、関係機関やボランティアとの連携・協力関係を強化し取り組んでいますが、令和2年度から令和4年度は、感染症防止対策により縮小実施となっています。令和3年2月より電子図書館を導入し、登録者数と貸出数も徐々に増えていますが、利用者を増やすための工夫が必要です。

各小学校において、ブックイベントを開催するなど、学校との連携が図られてきており、今後も、学校・地域・図書館が連携しながら、子ども達が本を身近に感じることができる環境づくりに、努めていくことが必要です。

7 文化財

【現状と課題】

郷土の歴史・自然・風土の中から形成された文化財は、町の歴史を今に伝える貴重な文化遺産であり、次の世代に守り伝え、後世に継承していかなければならないものです。

各文化財施設において文化財保護思想の啓発とボランティア活動を推進するための文化財ボランティア説明員による解説は好評ですが、高齢化により人員が減少しており、関係機関と連携し、人材発掘・育成に努めることが必要です。

文化財施設では、文化財の適切な保存と活用のため、日常的な管理と公開を行っています。重要文化財・史跡旧下ヨイチ運上家は、耐震工事を含めた修理工事を実施すべく、保存活用計画策定の段階に入っています。史跡旧余市福原漁場については、令和3年度から令和5年度に防災設備改修工事を実施しています。ニッカウヰスキー余市蒸溜所は、令和4年2月に国指定重要文化財に指定され、令和5年度に保存活用計画を策定します。

水産博物館においては、郷土資料の収集、調査研究を継続し、各講座や企画展示により成果の公開を行っています。SNSを活用した積極的な情報発信を行い、本町の歴史を振り返る特別展など展示の企画は好評を得ております。所蔵資料の保存はもとより、資料の公開により、町民に郷土の魅力を再発見してもらえよう努めています。

町民が文化財に親しめる事業として、町民無料デーや歴史探訪講座、歴史ウォーキングなど様々な事業を実施していますが、親子で参加できる体験機会の拡充が必要です。

歴史教育については、学校の要望に随時応えながら出前授業等を実施しており、総合的な学習などへの協力や、文化財の見学、調べ学習への協力を通して所蔵資料の有効活用を図りながら事業を実施しています。

埋蔵文化財行政の推進と埋蔵文化財保管場所の検討については、国や道と協力しながら発掘調査・試掘調査を実施していますが、埋蔵文化財収蔵庫の確保が課題であり、今後も発掘調査が見込まれることから、円滑に対応できる調査体制整備が必要です。

8 スポーツ・健康づくり

【現状と課題】

スポーツは、心身の健全な育成や健康の維持・増進に欠くことの出来ないものです。町民が生涯にわたって、健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、スポーツの担う役割は大きく、だれもが気軽にスポーツやレクリエーション活動ができる環境整備が求められています。

総合型地域スポーツクラブについては、平成27年にクラブが設立され、令和5年度から委託により中学校部活動の地域移行に向けた取り組みを進めています。

中高年の健康づくりへの意識の高揚から、気軽に行えるディスコンやモルックの教室を開催しています。

本町では、健康スポーツ教室等の事業を実施していますが、学習ニーズの多様化など、今後、一層の学習機会を拡充する必要があり、指導者の確保、養成を積極的に推進することが必要です。

教育委員会が主催する各種大会は、感染症防止対策により中止となった年度もあり、実施した事業の中には、参加者の減少や関係する競技団体の状況により、今後の大会運営の見直しなど検討が必要でです。

スポーツサークルについては、新たなサークル結成も無い状態であり、会員の新規加入や活動の活性化について、さらに支援を図ることが必要です。

体育連盟、スポーツ少年団本部については、教育委員会で事務局を務めています。今後も継続して団体との事務分担などを含め連携を図ります。

指導者の養成については、スポーツ推進委員、体育連盟、スポーツ少年団指導者等を対象に、各種講習会等への参加を呼び掛けるとともに、指導者養成事業への参加奨励も行っています。各種競技大会等のボランティアについては、令和2年度から令和4年度は、感染症防止対策により大会中止となったため活動がありませんでした。

体育施設については、耐震化も含めて施設及び設備の老朽化対策が課題です。

学校開放事業は、各スポーツ団体において有効に活用されています。

指定管理による運営については、総合体育館が管理運営され、スポーツ教室等の自主事業も行われています。今後も、町民の利用しやすい施設のあり方について指定管理者と連携し、より良い方向性について検討することが必要です。

第4章 対象別推進目標と振興方策

1 青少年教育

○目 標 健全な心身と心豊かな人間性を育む環境の整備

○振興方策

①青少年の学習機会の拡充

〔重点項目〕

- ・子どもを対象とした各種体験学習の継続的な活動の推進
- ・ボランティア活動の周知と活動機会の推進
- ・青少年対象事業と体験活動の拡充

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象とした各種文化サークル、講習会への支援 ・中学生子育て体験 ・自然体験活動事業の開催 ・青少年の体験活動推進事業への派遣 ・読書推進活動事業 <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館子ども映画会 ○ 図書館おたのしみ会 ○ 図書館1日司書 ○ ニコット探偵団 	継 継 継 継 継	文化協会、公民館サークル 保育所、中学校 各中学校・後志教育局 読書サークル他

②学校支援と放課後での安心安全の場の確保及びボランティア活動の奨励

〔重点項目〕

- ・放課後における地域教育力を活用した事業の推進
- ・家庭、学校、地域の連携による協力体制の推進
- ・ボランティアの強化と活動推進に向けた組織体制の推進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 ・学校支援地域本部事業 ・学校運営協議会 ・ウィークエンドサークル ・学校授業支援図書 	継 継 新 継 新	小学校 小中学校 小中学校 小中学校

③各関係機関、団体等との連携した世代間交流事業の促進及び子ども達の文化活動機会と指導者育成の促進

〔重点項目〕

- 各種少年団サークルの育成と加入促進の推進
- 世代間交流事業の推進
- 関係機関、団体サークル等との連携協力の推進
- 各種リーダー、ボランティア養成、指導者育成の推進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> • スポーツ少年団活動支援 • 子ども会活動の支援 • 世代間交流の促進 • 青少年育成団体事業の支援 • 地域子ども会育成連絡協議会への援助 • 学社連携会議（業務担当者会議など） 	継 継 継 継 継 継	スポーツ少年団本部、小学校 地域子ども会育成連絡協議会 地域子ども会育成連絡協議会 地域子ども会育成連絡協議会 小中学校

④青年層の活動環境の整備と事業の実施

〔重点項目〕

- 現状把握と学習会やボランティア活動への積極的参加の奨励
- 青年団サークルの育成と組織化の促進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> • 二十歳のつどい（旧成人式）の開催 • 町内青年団体等事業への支援 • ボランティア活動の推進 	継 継 継	青年会議所、職域青年部他 高校他

2 成人教育

○目 標 生涯学習の成果を地域活動や社会貢献できる環境整備の推進

○振興方策

①地域活動への参画と社会貢献を意識した事業の検討と各種団体と連携した環境整備

〔重点項目〕

- ・時代の変化に対応した学習機会の推進
- ・社会教育施設相互の連携と有効活用した学習機会の強化
- ・関係機関、団体サークルの支援と連携
- ・出前講座の積極的な実施と生涯学習に関する学習機会の推進
- ・学習成果と実践活動の条件整備の強化

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・各講習、教室などの開催 ・生涯学習セミナーの開催 ・既存施設の有効活用と利用促進 ・団体サークルの支援と連携 ・出前講座の実施 ・生涯学習に関する学習機会の推進 ・町づくり、地域づくり事業の情報提供と参加奨励 	継 継 継 継 継 継 継	社会教育団体、サークル他 関係機関・団体

②成人対象事業の推進と図書館でインターネットを活用した学習等への支援

〔重点項目〕

- ・女性が抱える課題解決に向けた学習機会の促進
- ・指導者の育成強化
- ・図書館でインターネットを活用した学習および情報提供

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・成人教育事業の企画と実施 ・女性団体リーダー研修会への協力 ・図書館でインターネットを活用した調査と学習および情報提供 ・ホームページ、SNSでの情報提供 ・電子図書館の利用促進と電子書籍の充実 	継 継 継 継 新	女性団体連絡協議会

③各種ボランティアの活動促進と学校支援の継続

〔重点項目〕

- 学校支援ボランティア活動の推進
- 指導者及び生涯学習ボランティアリストの整備と活動の場の設定
- ボランティア団体活動への支援と協力

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
• 学校支援地域本部事業の実施	継	小中学校、関係団体
• 放課後子ども教室への支援	継	小中学校、関係団体
• ボランティア活動の推進	継	関係機関
• 生涯学習ボランティアリストの整備と活用	継	
• ボランティア団体活動への支援と協力	継	

3 高齢者教育

○目 標 学習機会の推進と知識や経験を活かせる機会の拡充

○振興方策

①高齢者のニーズに応じた学習機会の提供

〔重点項目〕

- ・相互に学びあえる学習活動の推進
- ・学習を通じた交流機会の提供
- ・団体サークル活動への支援と情報提供

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体サークルへの支援協力と加入促進 ・生涯学習セミナーの開催 ・出前講座の継続実施 ・寿大学と女性学級の合同学習会の実施 ・団体サークルの自主的活動への支援 ・シルバーアート展の実施 	継 継 継 新 継 継	文化協会、女連協、体育連盟など 文化協会、女連協、体育連盟など 文化協会、女連協、体育連盟など 老人クラブ、関係機関 老人クラブ、関係機関

②学習成果を活かした学習機会と伝統文化継承を目的とした世代間交流事業の実施

〔重点項目〕

- ・ボランティア活動を含め、経験や知識、技能を活かす場の設定
- ・世代間交流事業の拡充
- ・生活文化伝承活動による資料保存と奨励

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の推進 ・指導者リストの整備と活用 ・世代間交流事業の企画、実施 ・生活文化伝承活動による資料保存と奨励 	継 継 継 継	小中学校、関係機関 小中学校、老人クラブ

③関係団体との連携を深め、ボランティア活動を通じた社会貢献の促進

〔重点項目〕

- ・人材活用の促進のための活動機会の提供
- ・指導者、ボランティアリストの整備と推進
- ・関係機関や団体サークルとの連携協力

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none">・イベントへの積極的参加促進・ボランティア活動の推進・学習活動に関する情報収集と提供・関係機関、団体との連携による事業の企画、実施	継 継 継 継	

4 子育て支援・家庭教育

○目 標 読書を通じた活動による子育ておよび家庭教育の支援

○振興方策

①「基本的な生活習慣を身につける」ための地域と連携した取り組みの実施

〔重点項目〕

- ・小中学校、保育所との連携した学習機会の推進
- ・子育てサークルの自主的活動への支援
- ・ブックスタート事業およびフォローアップの推進
- ・余市町子どもの読書活動推進計画の事業実施

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に関する学習機会の企画と実施 ・生活リズムチェックシートの活用 ・関係機関、団体との情報交換と連携促進 ・ブックスタート事業およびフォローアップの推進 	継 継 継 継	保育所、小中学校、関係機関・団体 子育て連絡会 子育て・健康推進課

②家庭、地域、関係機関が結びついた子育て意識の高揚

〔重点項目〕

- ・子育てサークル活動への支援
- ・親子と一緒に体験出来る場や機会づくりの促進
- ・読書普及事業の推進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て関係団体への支援 ・「朝読」、「家読」などの読書活動の啓発 ・図書館読書普及事業の推進 ブックイベント ワークショップ 読書会、本の読み聞かせ他 	継 継 継	子育て・健康推進課 保育所、小中学校、高等学校 小中学校、読書サークル等

③親子が気軽に参加でき、子育てが楽しくなるサークル活動の支援と相談体制の充実

〔重点項目〕

- 家庭教育に関する情報収集と提供
- 相談窓口の整備と情報共有の推進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> • 子育てサークルへの社会教育関係施設の開放 • 子育てサークルの活動支援 • 子育て支援活動への協力 • 家庭教育に役立つ情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 継 継 継 継 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・健康推進課 子育てサークル、読書サークル他 関係機関、団体 子育て・健康推進課

5 条件整備

○目 標 教養・文化・歴史・スポーツ各分野における支援体制の整備

○振興方策

①生涯学習社会の実現に向けた推進体制の整備

〔重点項目〕

- ・生涯学習推進体制の整備
- ・社会教育担当及び各種委員の研修機会の拡充

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
・生涯学習推進体制の整備	継	各学校・社会教育関係団体他
・生涯学習ボランティアリストの整備	継	
・生涯学習関係各研修会参加	継	社会教育関係団体他

②指導体制の充実と地域との教育ネットワーク体制の整備

〔重点項目〕

- ・指導体制の充実と教育ネットワークの整備
- ・民間指導者の活用

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
・地域との教育ネットワークの整備	継	
・専門性を活かした指導体制の充実	継	
・民間指導者の活用	継	
・各種委員の研修会への参加	継	

③学習相談の支援と各種学習情報提供の充実

〔重点項目〕

- ・関係機関、団体と連携した学習相談体制の推進
- ・社会教育施設の情報提供及び発信強化

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
・学習相談体制の確立	継	
・生涯学習だよりの発行	継	
・HPの充実による情報提供	継	
・体育館、図書館、博物館の情報提供と発信の強化	継	

④社会教育施設の計画的な改修整備とボランティア活動の支援

〔重点項目〕

- 学校、地域、行政による学社連携と学校開放事業の推進
- ボランティア事業の促進
- 各種ボランティア団体活動への支援
- 文化財施設の補修整備と管理運営方法の見直しと利用促進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> • 学校体育施設開放事業の推進 • 学社連携会議（業務担当者会議など） • 社会教育施設へのボランティアの受け入れ促進と活動への支援 • 各社会教育施設の補修整備及び有効活用の促進 • 文化財施設の管理運営方法の検討 • 文化財施設の改修 	継 継 継 継 継 継	小中学校 社会教育関係団体、サークル 社会教育関係団体、サークル

6 文化活動

○目 標 芸術文化活動の発表、鑑賞、創作機会の充実と環境整備の推進

○振興方策

①芸術文化の鑑賞機会の提供と活動への奨励

〔重点項目〕

- ・各関連機関との連携による芸術鑑賞機会の提供と充実
- ・芸術文化活動の拡充及び講座教室の開催
- ・芸術文化に関する各種情報の発信・収集の強化

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
・芸術文化活動の発表機会の支援	継	文化協会、公民館サークル他
・文化祭開催及び支援	継	文化協会、公民館サークル他
・舞台芸術等の鑑賞機会の支援	継	文化協会、小中学校
・近隣自治体の鑑賞機会の情報提供	継	

②芸術文化団体活動の促進と団体と連携した事業の充実

〔重点項目〕

- ・団体サークルとの連携強化及び自主的活動への支援
- ・各種研修会、養成講習会などの開催及び派遣
- ・ボランティア活動の促進

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
・芸術文化鑑賞団体への協力支援	継	文化協会
・団体サークル自主的活動の支援	継	文化協会、公民館サークル他
・ボランティア活動の促進	継	文化協会、サークル

③学校及び関係団体と連携した文化活動への支援強化

〔重点項目〕

- ・世代間交流を通じた文化伝統活動の推進
- ・芸術文化鑑賞機会の拡充と発表機会の充実

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年文化活動への支援 ・部活動などの文化活動への支援 ・吹奏楽、合唱など発表機会への支援 ・指導者リストの整備と活用 ・世代間交流事業 	継 継 継 継 継	小中学校、高等学校 中学校、高等学校 中学校、高等学校、文化協会他 文化協会、公民館サークル他

④読書普及活動の推進

〔重点項目〕

- ・町民ニーズに即した資料の提供と読書普及活動の充実
- ・広域的な読書活動の推進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスの拡充 ・読書普及事業の企画と実施 ・企画展示の実施 ・移動巡回文庫、動く図書館の充実 ・小中学校図書室担当教員との連携 ・読書感想文コンクールの実施 ・読書ボランティアの支援 ・学校図書室の環境整備と支援 	継 継 継 継 継 継 継	町内5カ所ステーション 小中学校

7 文化財

○目 標 文化財の適切な保存と活用・公開の推進

○振興方策

①文化財の適切な保存とボランティア組織や関係機関と連携した事業の実施

〔重点項目〕

- ・文化財保護の啓発とボランティア活動の推進
- ・郷土資料の収集と調査及び展示機会の充実
- ・古文書の解読・保存・活用の拡充
- ・文化財施設管理体制の検討と保存活用計画の策定

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財ボランティア説明員の拡大と育成 ・余市水産博物館活動協力会との連携 ・郷土資料の収集と調査研究と成果の公開 ・文化財の適切な保護保存 ・文化財施設の管理体制の強化 ・文化財施設の保存活用計画の策定 ・観光に関係する団体との連携促進 ・所蔵品のデジタル化による活用促進 	継 継 継 継 継 継 継 新	商工観光課・観光協会

②郷土資料を有効活用した学習機会の提供と文化財整備にかかる体制の充実

〔重点項目〕

- ・展示の充実と研究成果の公開の推進
- ・町民が文化財に親しめる事業の拡充
- ・文化財の伝承後継者育成の検討
- ・郷土の歴史教育と親子で参加できる体験機会の推進
- ・埋蔵文化財行政の推進と遺物保管場所確保の検討

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の拡充 ・水産博物館特別展の充実 ・企画展、ミニ企画展の実施 ・歴史探訪講座の実施 ・余市歴史ウォーキングの実施 ・総合学習、調べ学習への協力 ・親子の体験型事業の実施 ・埋蔵文化財の保護と関係機関との調整 ・遺物保管場所確保の検討 	継 継 継 継 継 継 継 継 継	小中学校、区会他 公民館文化教室・郷土研究会 小中学校

8 スポーツ・健康づくり

○目 標 心身の健康維持・増進に資するスポーツの推進

○振興方策

①スポーツ・健康づくり活動の啓蒙と各種主催スポーツ大会や教室等の取り組み強化

〔重点項目〕

- ・総合型地域スポーツクラブとの連携
- ・各種スポーツ大会、レクリエーション及び各種ニュースポーツ教室の実施
- ・スポーツ活動の推進
- ・地域、団体サークル、各学校との連携した事業実施の推進
- ・各種主催スポーツ大会の検証と運営方法等の見直し

〔具体的施策〕

具 体 的 施 策	継・新	連携組織・団体サークル
・総合型地域スポーツクラブとの連携	継	体育連盟、スポーツ少年団、 その他関係団体
・生涯・健康スポーツ教室の実施	継	
・ニュースポーツ教室の開催	継	
・町民スキー大会	継	スキー連盟他
・ジュニアサマージャンプ大会	継	スキー連盟他
・よいちっ子オリンピック陸上競技会	継	小中学校
・各種スポーツ大会等の支援	継	体育連盟、スポーツ少年団、 その他関係団体

②スポーツ少年団指導者の育成とスポーツ関係団体やスポーツサークルへの支援

〔重点項目〕

- ・団体サークルへの加入促進、組織強化と相互の連携を図る
- ・スポーツ講演会、講習会の開催及び派遣
- ・各種競技団体の活動支援と競技力の向上
- ・体育連盟、スポーツ少年団本部の自主的活動の促進
- ・指導者、ボランティア養成事業への参加促進

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・ 体育連盟活動への支援	継	体育連盟及び加盟団体
・ スポーツサークルの支援と加入促進	継	スポーツ少年団本部及び加盟団体
・ スポーツ少年団活動への支援	継	
・ スポーツ、健康づくり活動の促進につながる情報の提供	継	スポーツサークル他
・ スポーツ指導者養成講習会等の情報提供と参加奨励	継	
・ 各種競技大会等へのボランティアスタッフの協力促進	継	体育連盟他
・ スポーツ教室等への指導者の活用	継	体育連盟他

③スポーツ施設の維持と指定管理者や総合型地域スポーツクラブと連携した事業の推進

〔重点項目〕

- ・ 社会体育関連施設の維持管理と利用促進
- ・ 学校体育施設開放事業の充実
- ・ 指定管理者との連携強化

〔具体的施策〕

具体的施策	継・新	連携組織・団体サークル
・ 各スポーツ施設の補修整備と有効活用	継	体育連盟他
・ 学校体育施設開放事業の推進	継	小中学校、体育団体、サークル
・ 指定管理による総合体育館の運営	継	指定管理者

参 考 资 料

「社会教育に関する利用者意識調査」集計結果の概要

1. 調査の目的

第7次余市町社会教育中期計画の策定に伴い、社会教育関係団体の活動実態と社会教育に関する意識や状況などについて把握し、今後の社会教育推進のための基礎資料とする。

2. 調査機関 余市町教育委員会

3. 調査対象 社会教育に関する団体（社会教育関係団体、余市文化協会加盟団体、余市体育連盟加盟団体、サークル団体等）及び社会教育施設の町民利用者

4. 調査項目

- (I) 生きがい、余暇について
- (II) 学習活動の状況について
- (III) 今後の学習活動について
- (IV) 学習情報について
- (V) 図書館・読書活動について
- (VI) 文化財について
- (VII) スポーツ・レクリエーションについて
- (VIII) 芸術・文化
- (IX) 学習施設について
- (X) 今後、社会教育行政に望むこと

5. 調査方法 各団体及び社会教育施設利用者へアンケート調査と回収

6. 配付数 580部配付

7. 回収数 382部 男性 124名 女性 258名

8. 調査期間 令和5年6月26日から8月4日まで

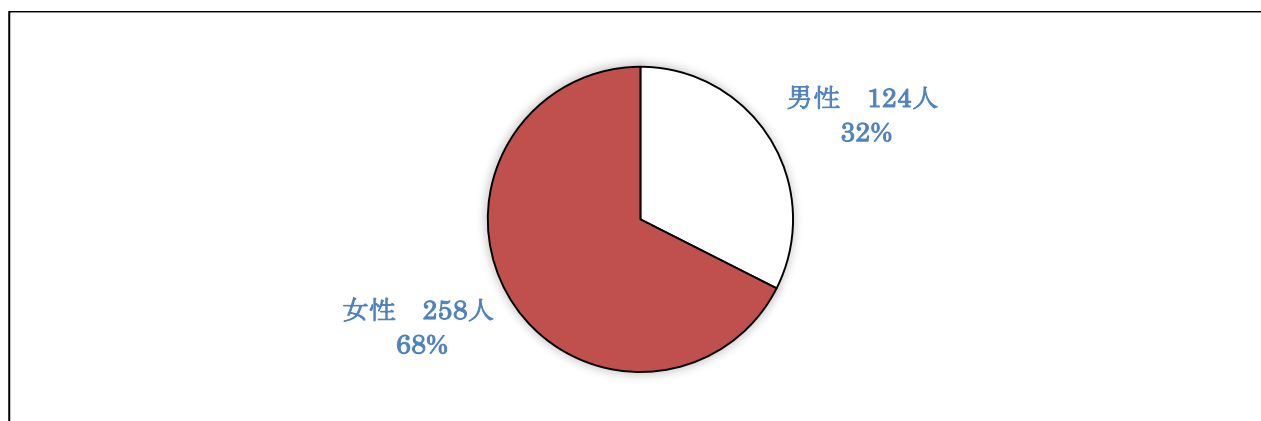
『社会教育に関する町民意識調査』集計結果

○回収数 配付部数 580部 回収件数 382 回収率 65.9%

	男性	女性	合計
合計	124	258	382
男女比	32.0%	68.0%	

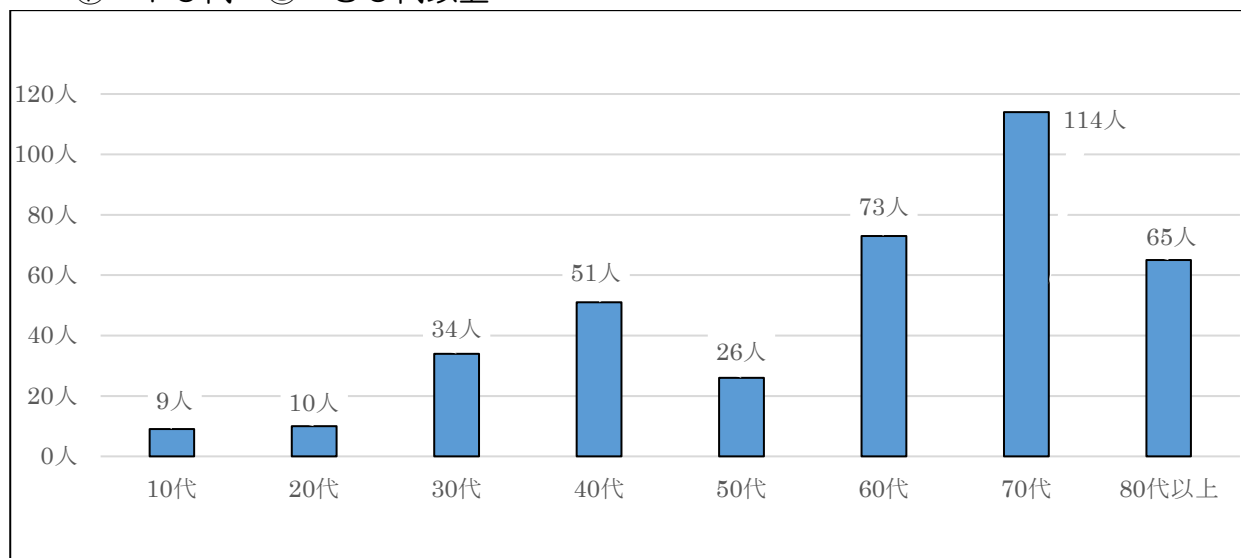
問1 あなたの性別はつぎのどれですか。

- ① 男性 ② 女性



問2 あなたの年齢は、つぎのうちどれですか。

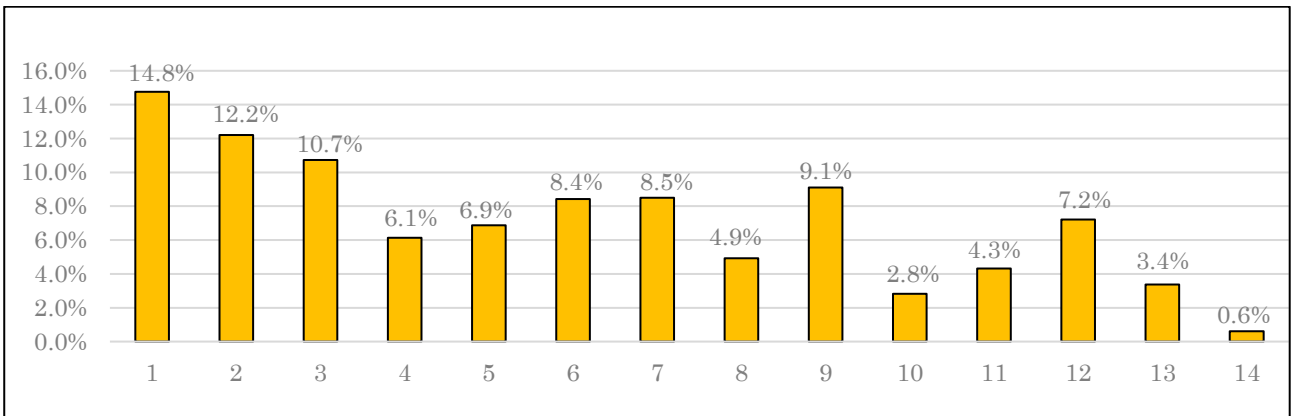
- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上



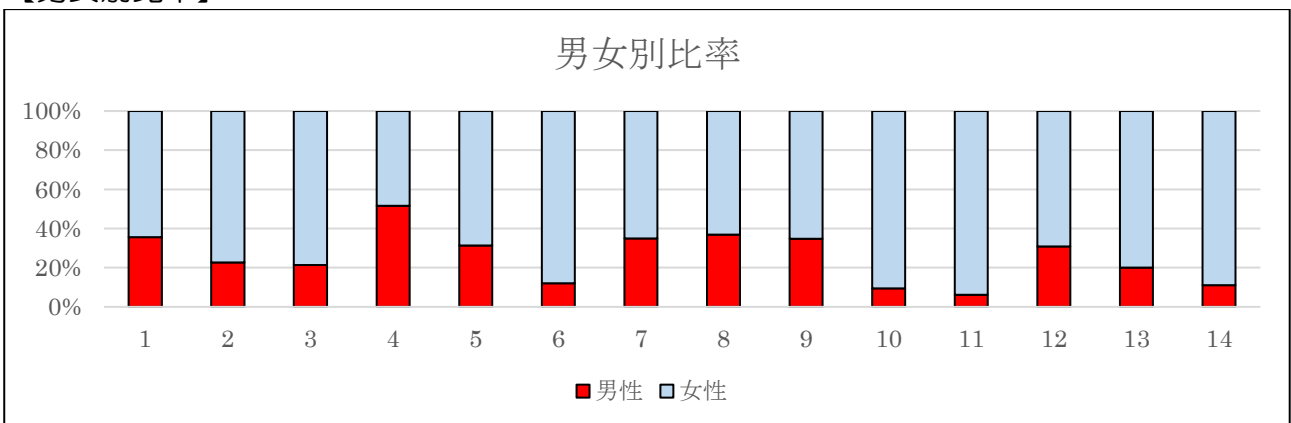
問4 あなたは余暇を主に、どのように過ごしていますか。（複数可）

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 趣味・娯楽 | ② テレビ・ラジオ |
| ③ 読書・新聞・雑誌を読む | ④ スポーツ |
| ⑤ 休養 | ⑥ 買い物 |
| ⑦ 家族との団らん | ⑧ パソコン・インターネット |
| ⑨ ドライブ・行楽・旅行 | ⑩ 近所づきあい |
| ⑪ 習い事 | ⑫ 団体・サークル活動 |
| ⑬ ボランティア活動 | ⑭ その他（ ） |

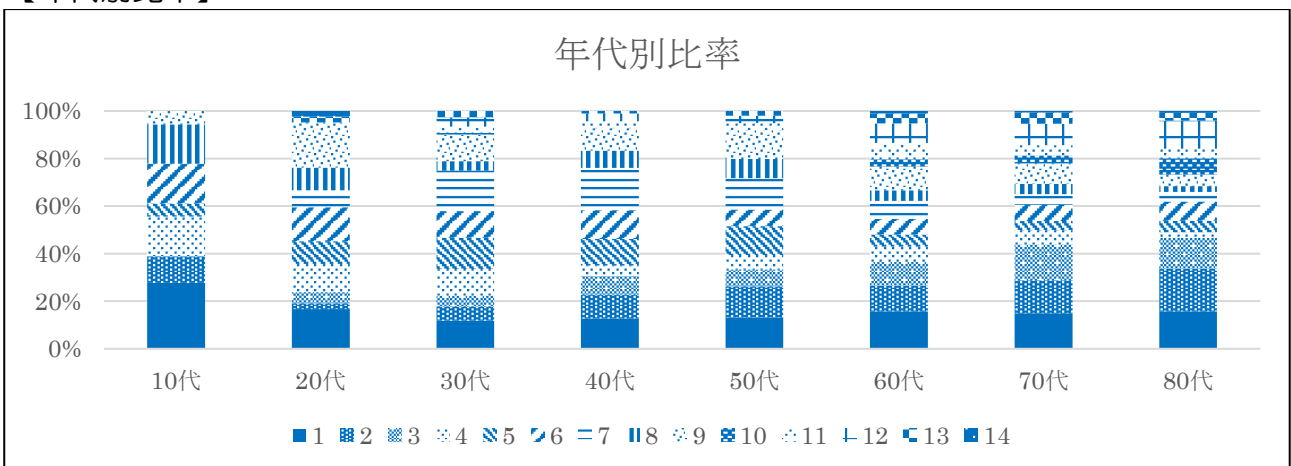
【余暇の過ごし方については、趣味・娯楽、テレビ・ラジオ、読書・新聞・雑誌を読むなどの割合が多く、団体・サークル活動の割合が減少。】



【男女別比率】



【年代別比率】

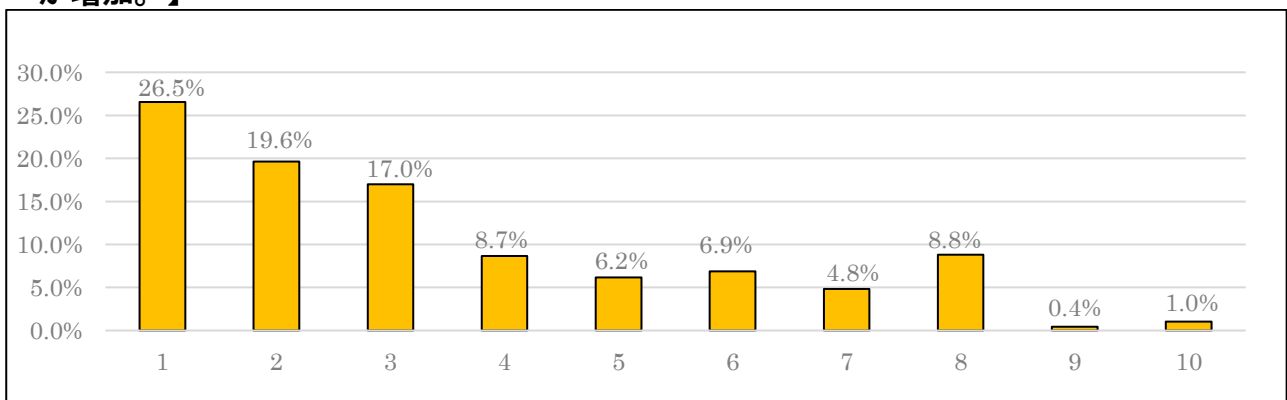


Ⅱ 学習活動の状況について

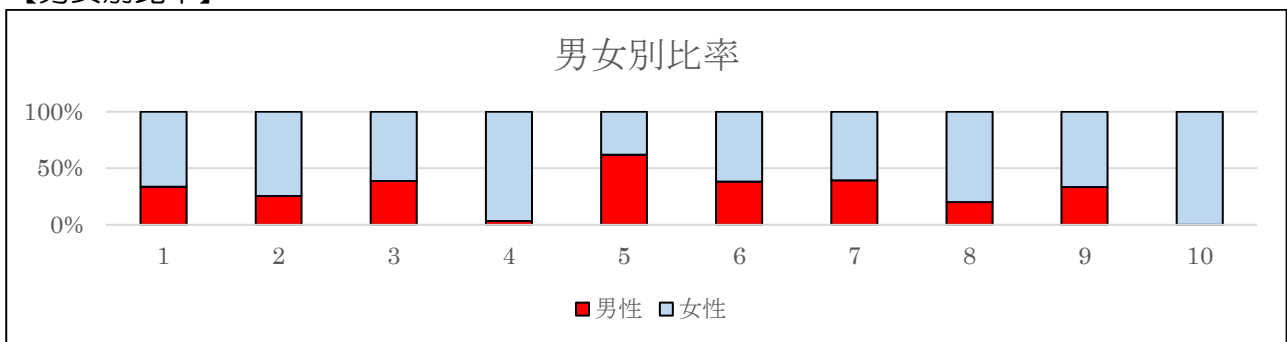
問5 あなたが学習した（している）主な内容を次の中から選んで下さい。（複数可）

- ① スポーツ、レクリエーションなどの運動や健康に関する学習
- ② 茶道、華道、舞踊、絵画、書道、音楽などの趣味や芸術・芸能に関する学習
- ③ 仕事や職業上の知識、技術に関する学習（パソコン含む）
- ④ 料理、育児など家庭生活に関する学習
- ⑤ 政治、経済、時事問題など社会生活に関する学習
- ⑥ 語学、文学、歴史など一般教養に関する学習
- ⑦ 余市町の歴史、文化財などに関する学習
- ⑧ 社会福祉・ボランティア活動に関する学習
- ⑨ 国際交流・国際文化に関する学習（英会話など）
- ⑩ その他（ ）

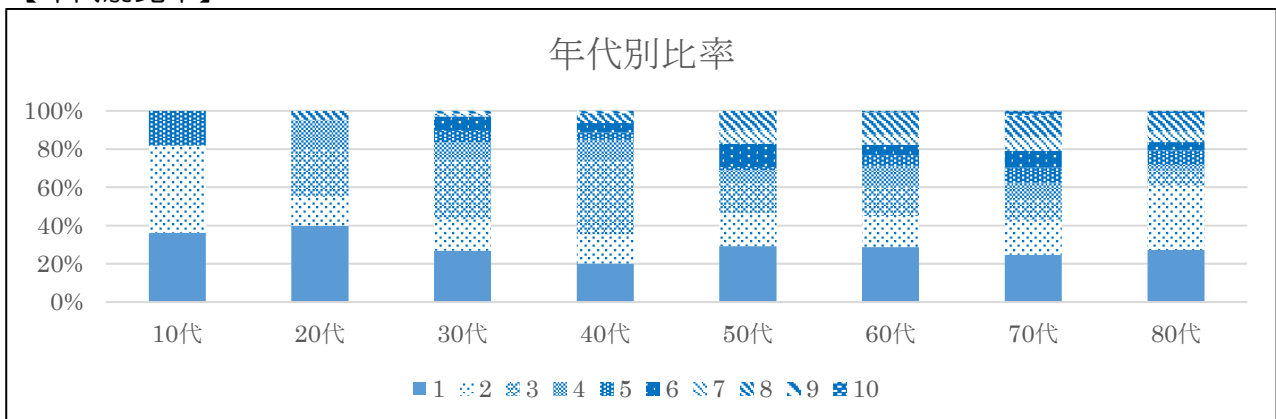
【学習活動については、スポーツ、レクリエーションなどの運動や健康に関する学習の割合が増加。】



【男女別比率】



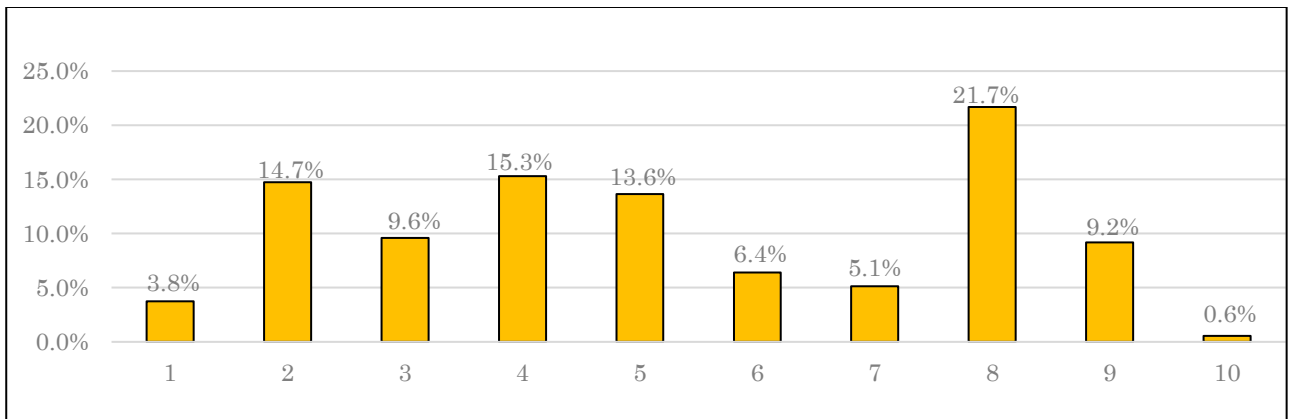
【年代別比率】



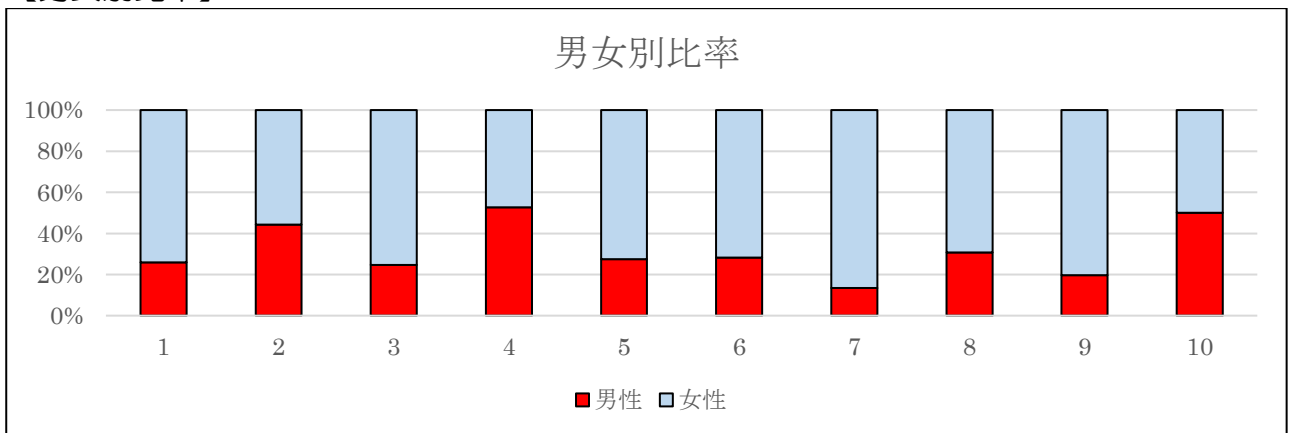
問6 どのような機会学習を行いましたか。(複数可)

- ① 通信教育、放送大学などを利用
- ② テレビ、図書などを利用
- ③ 民間が開設する教室や各種学校に参加
- ④ インターネットを利用
- ⑤ 家族や友人など仲間同士で活動
- ⑥ 職場の研修会などに参加
- ⑦ 青年・女性団体、PTA、老人クラブなどの活動に参加
- ⑧ 趣味の会、文化・スポーツ団体、サークルに参加
- ⑨ 町や教育委員会が開設する講座、教室などに参加
- ⑩ その他()

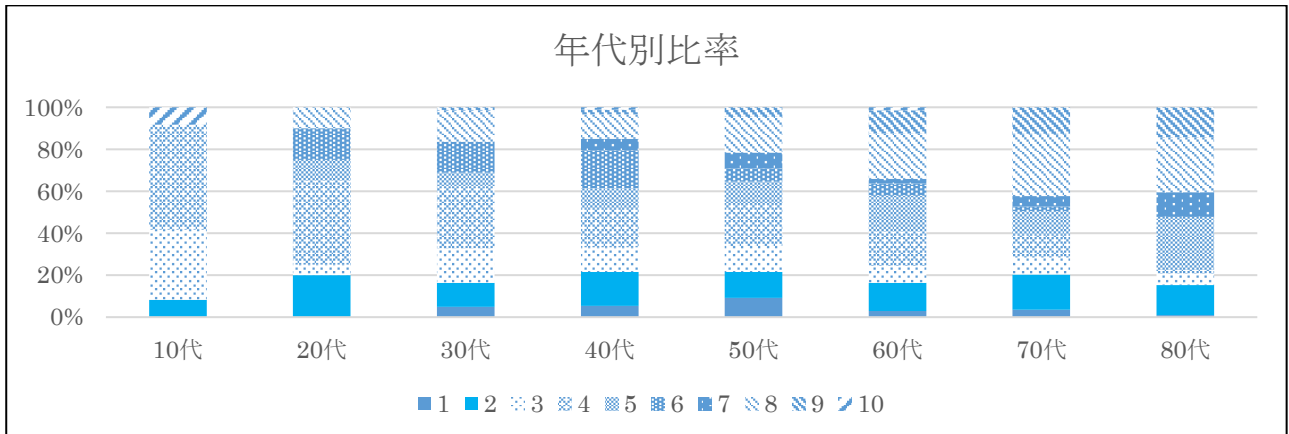
【学習機会・方法については、インターネット、テレビ・図書などを利用、家族や友人など仲間同士で活動、これらの学習割合が増加。】



【男女別比率】



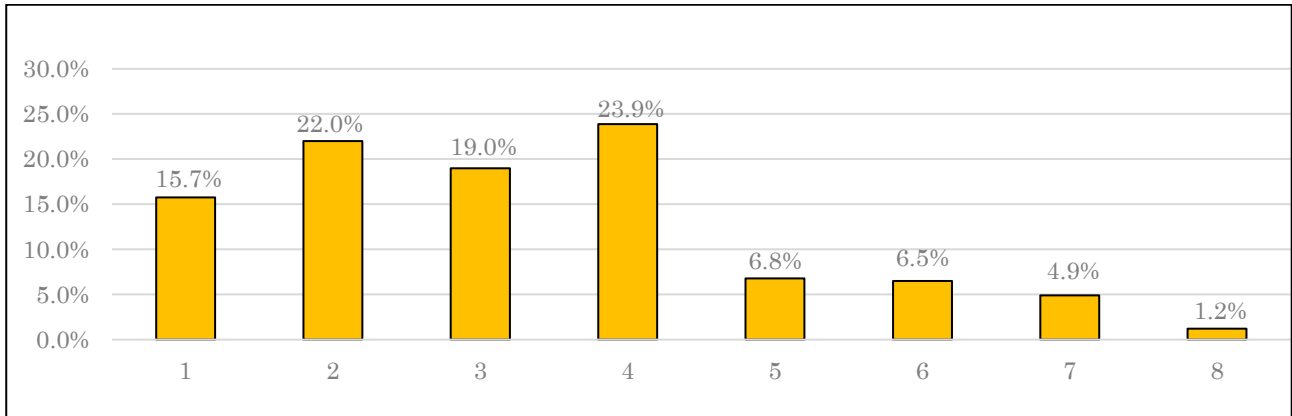
【年代別比率】



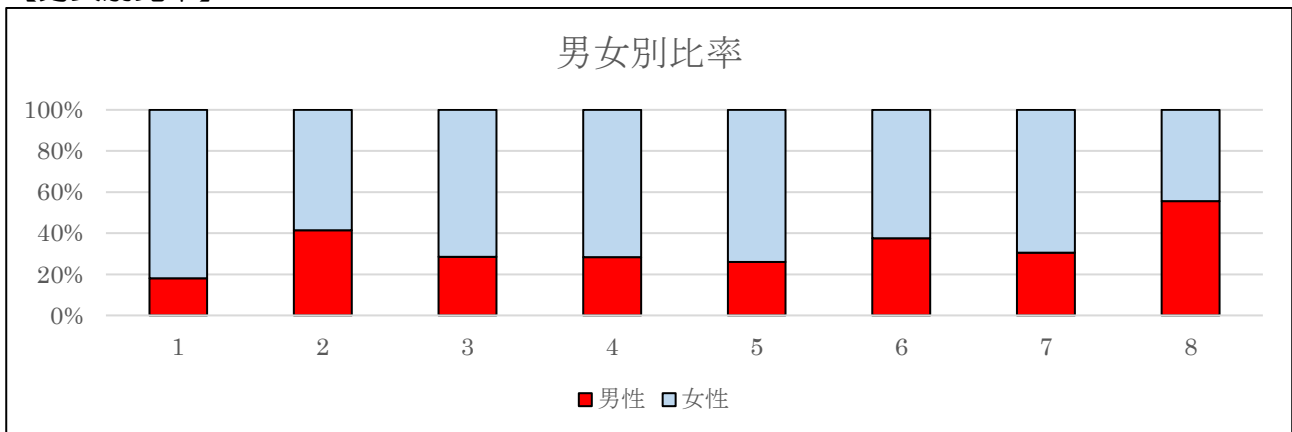
問7 あなたが学習を行った主な理由についてお答え下さい。（複数可）

- ① 生きがいづくりのため
- ② 知識・教養を高めるため
- ③ 多くの人と交流をするため
- ④ 健康・体力づくりのため
- ⑤ 家庭生活をより良くするため
- ⑥ 仕事又は、収入を得るため
- ⑦ 資格を得るため
- ⑧ その他（ ）

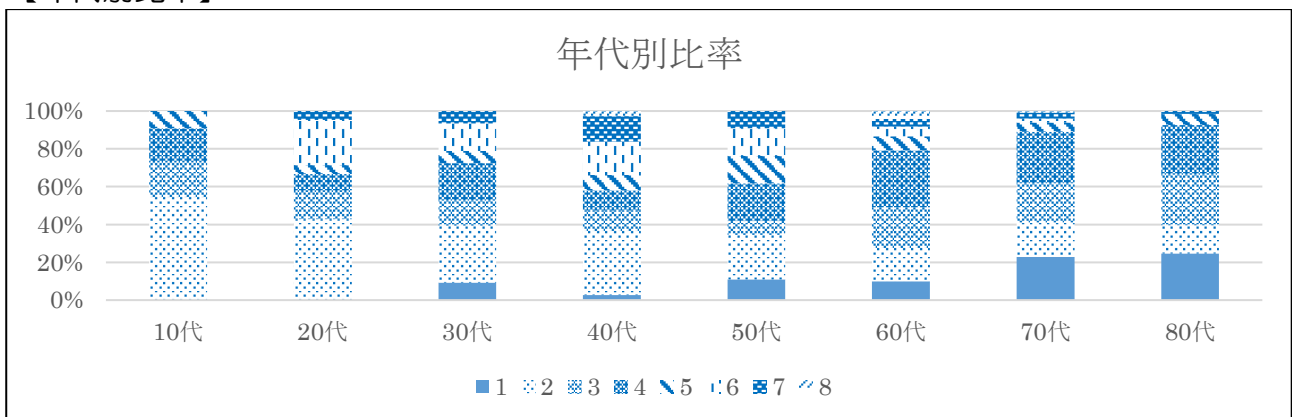
【学習を行なった主な理由については、健康・体力づくりのための割合が増加、生きがいづくりのための割合が減少。】



【男女別比率】



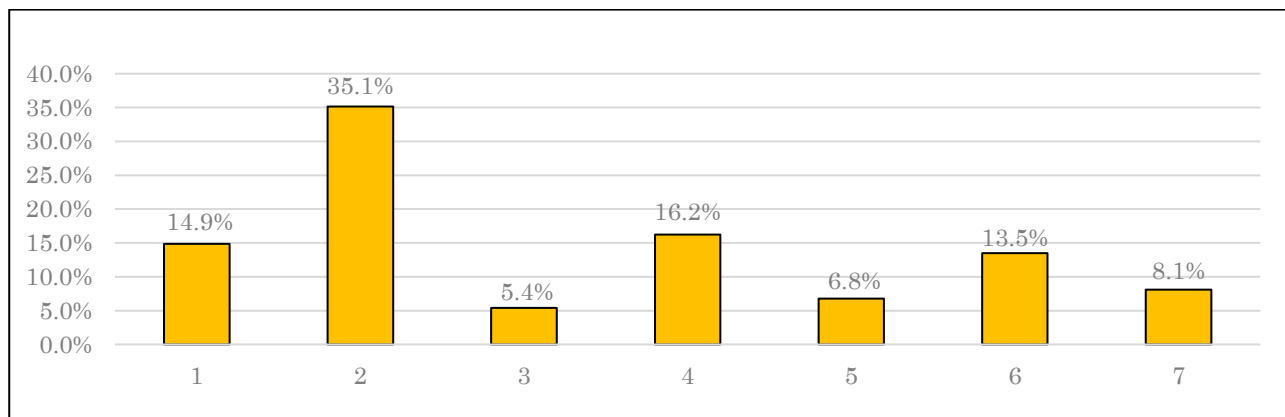
【年代別比率】



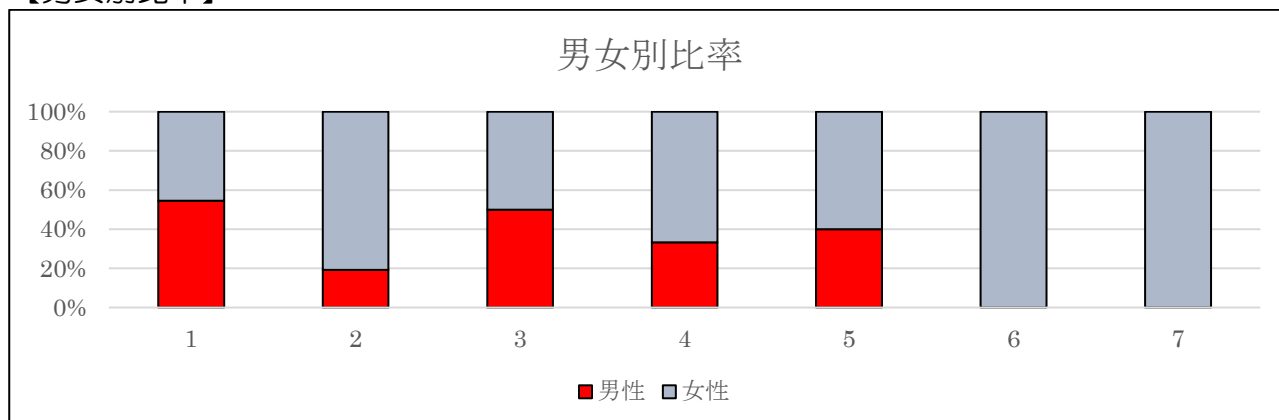
問8 あなたが学習を行わなかった主な理由をお答え下さい。（複数可）

- ① 学習する必要を感じない
- ② 受講できる時間帯が合わない
- ③ 自分に適した学習がわからない
- ④ 関心のある講座や教室が無い
- ⑤ 参加方法がわからない
- ⑥ きっかけがつかめない
- ⑦ 費用がかかる

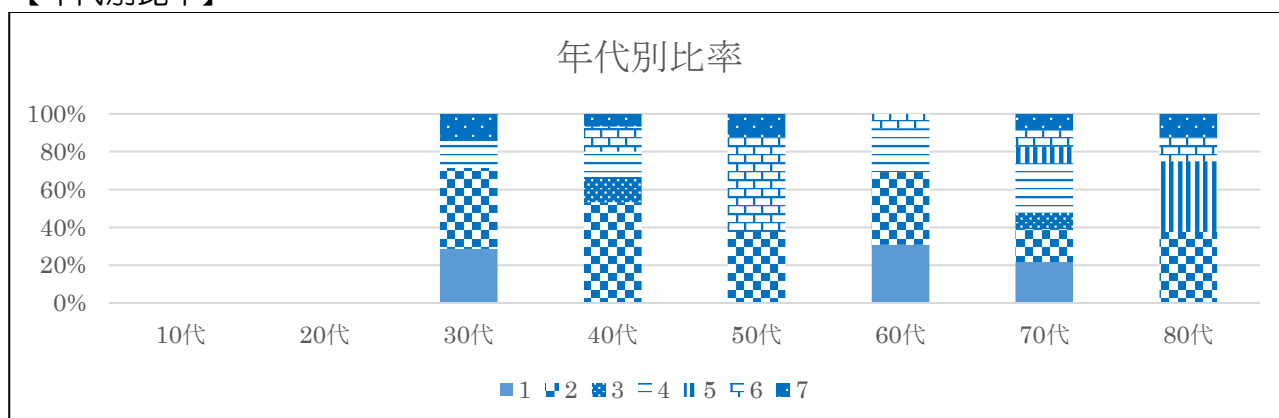
【学習を行わなかった理由については、受講できる時間帯が合わない割合が多く、学習する必要を感じない割合が増加。】



【男女別比率】



【年代別比率】

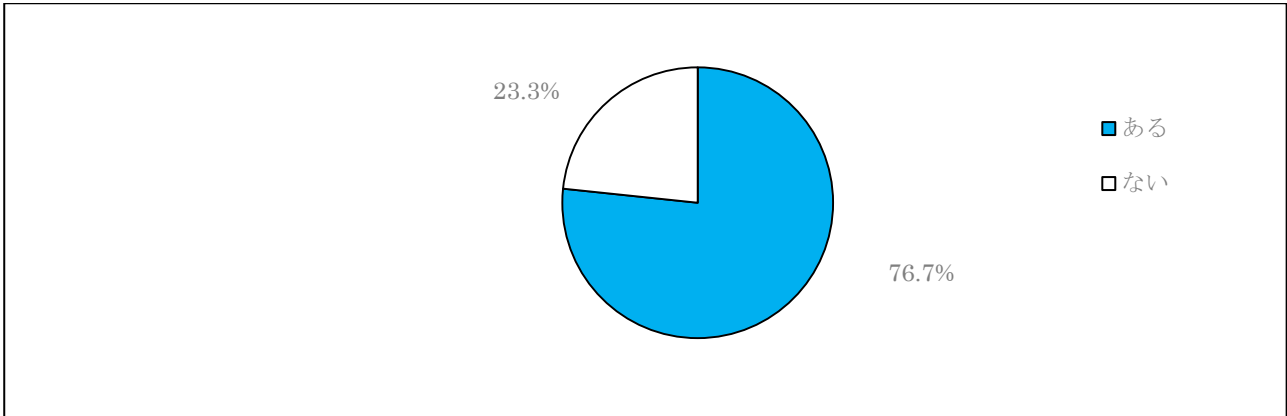


問9 あなたは公民館、体育館、図書館、博物館が行った事業（各種教室、講座、講演会、大会など）に参加したことがありますか。

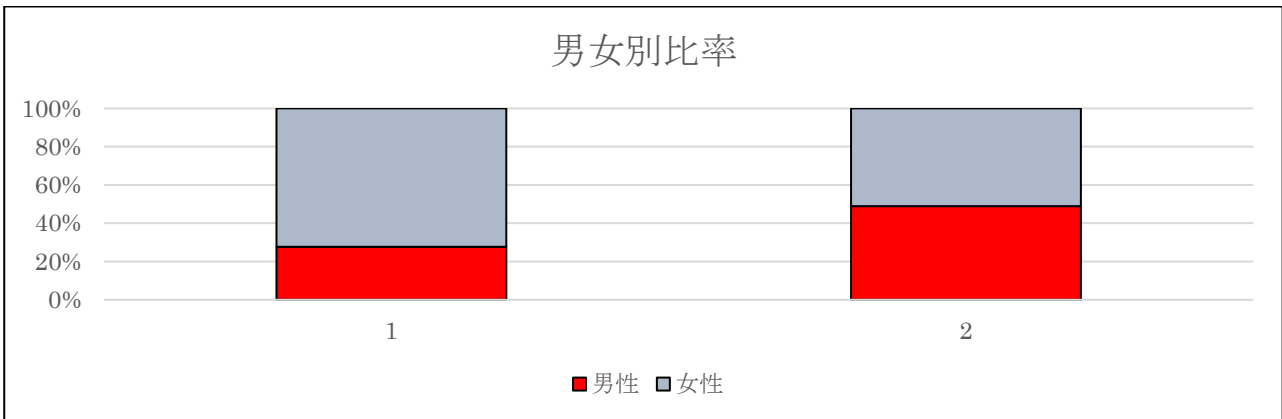
① ある

② ない

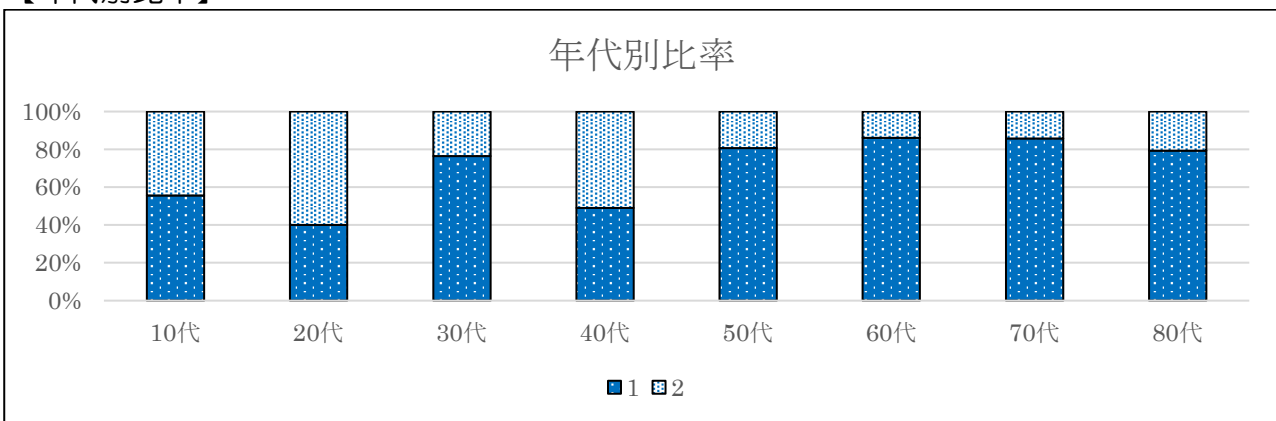
【回答者の77%が事業に参加したことがあるとの回答により、各種事業への関心が見られる結果となった。】



【男女別比率】



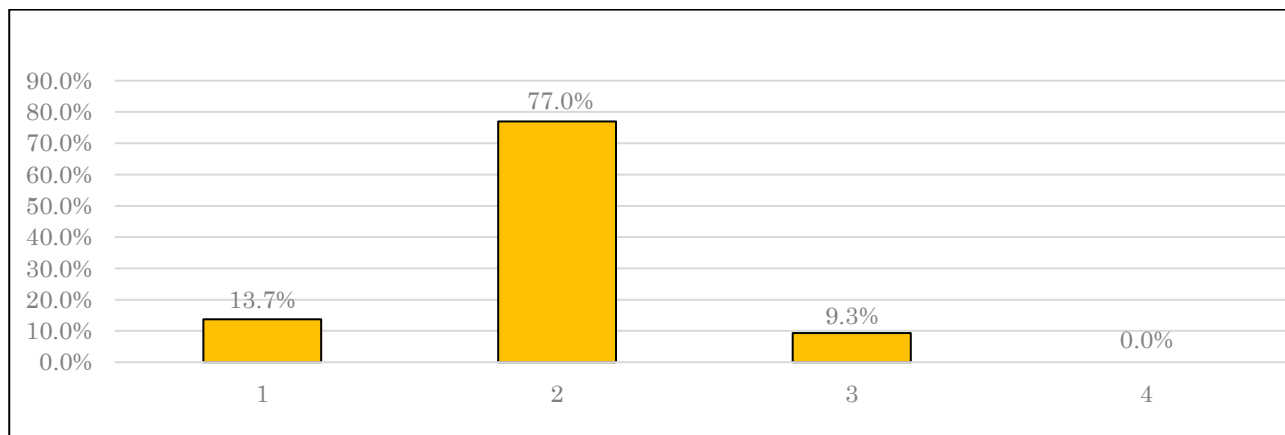
【年代別比率】



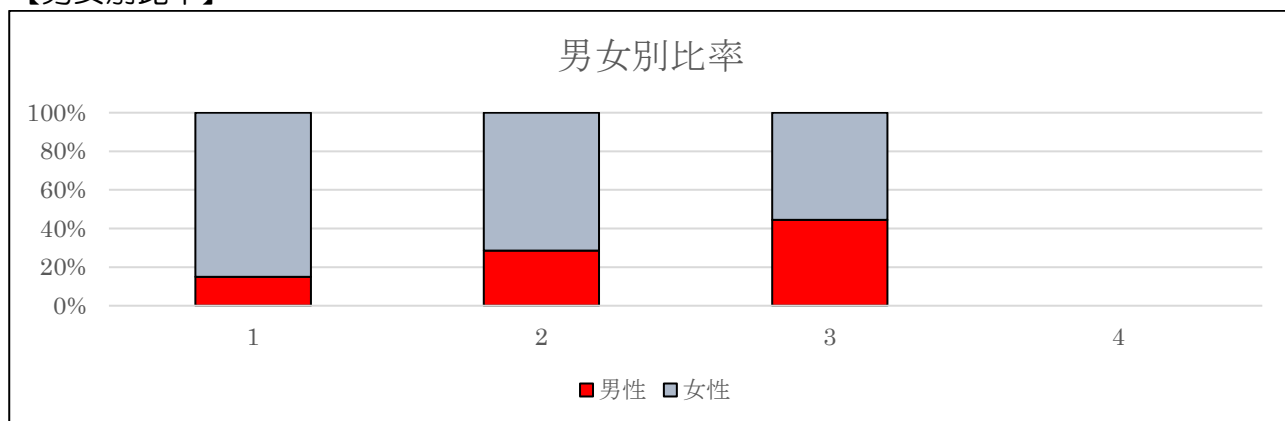
問10 参加された方で、事業に参加してどのように感じましたか。

- ① 十分満足している
- ② ある程度満足している
- ③ あまり満足していない
- ④ 全く満足していない

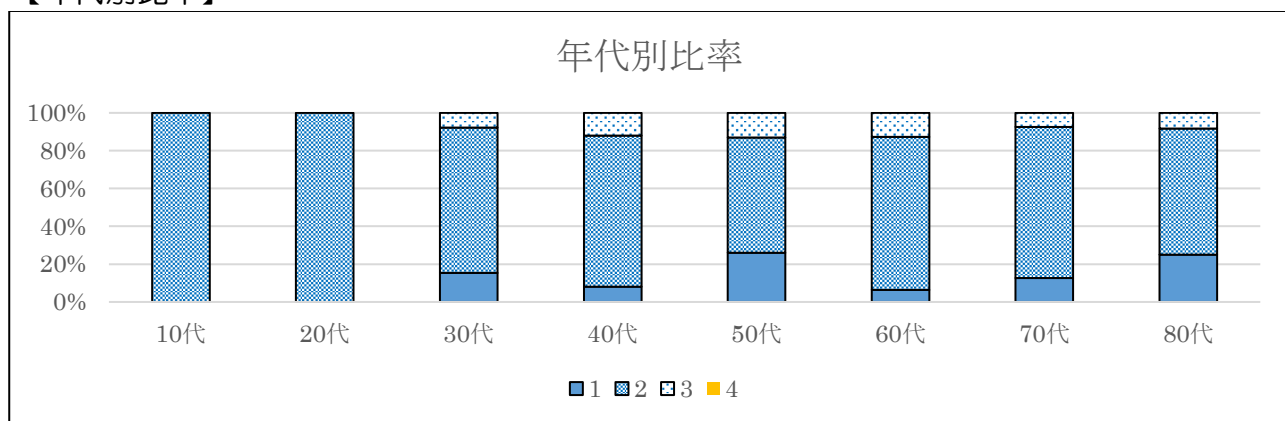
【参加者の満足している割合は、91%で事業内容として良い結果ととらえる。】



【男女別比率】



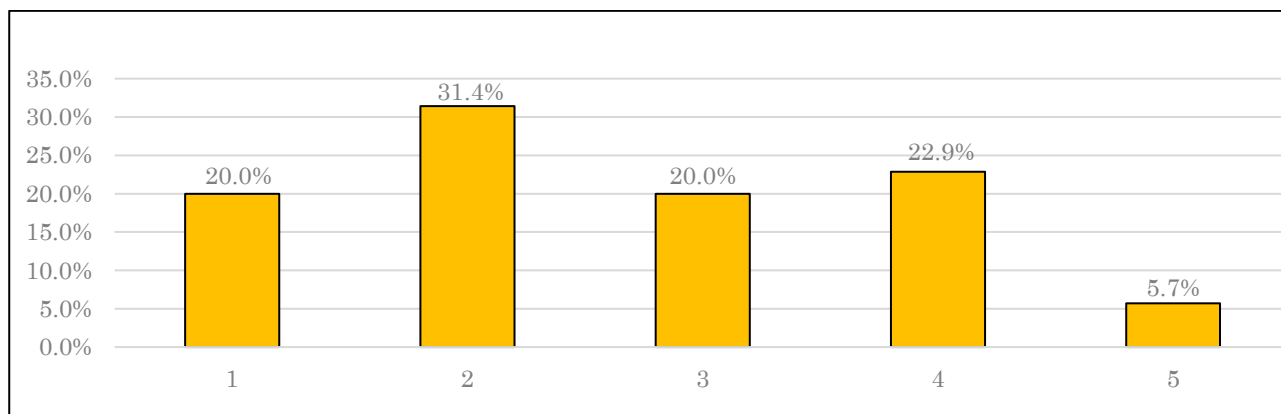
【年代別比率】



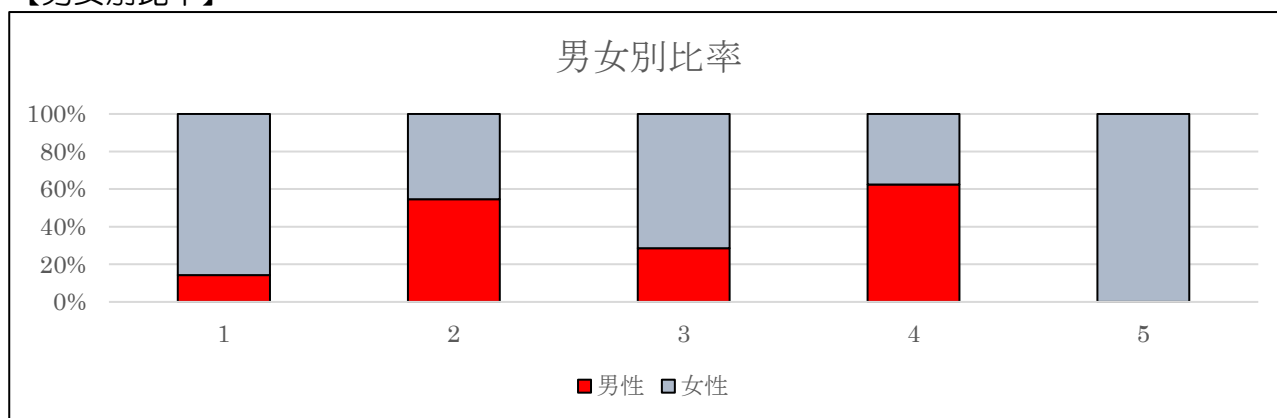
問11 問10で③、④を選んだ方は、満足できない理由を選んでください。

- ① 内容・講師がマンネリ化している
- ② 学習程度に応じた講座がない
- ③ 事業の種類や事業の数が少ない
- ④ 事業の開催時期、時間が偏っている
- ⑤ その他（ ）

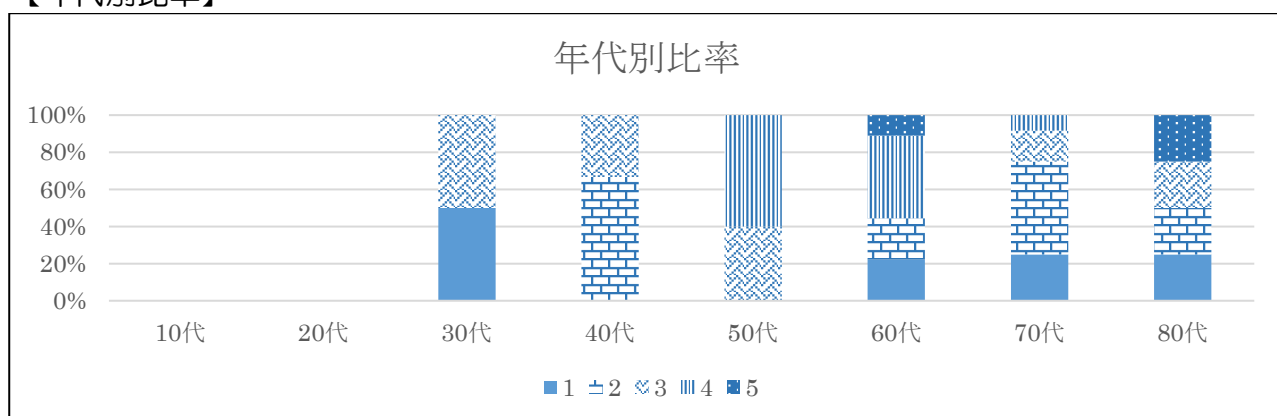
【満足できない理由については、②、④の理由割合が増加、事業内容、開催時期等の検討が必要。】



【男女別比率】



【年代別比率】

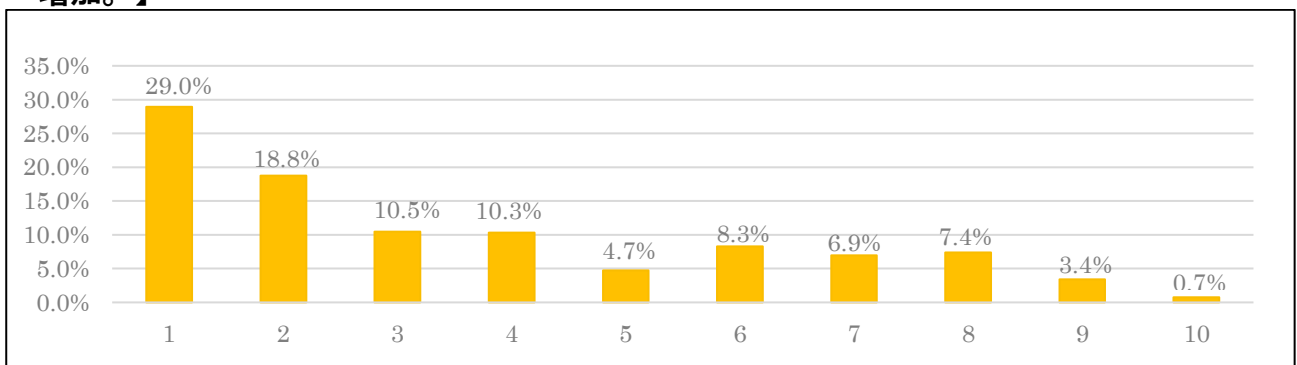


Ⅲ 今後の学習活動について

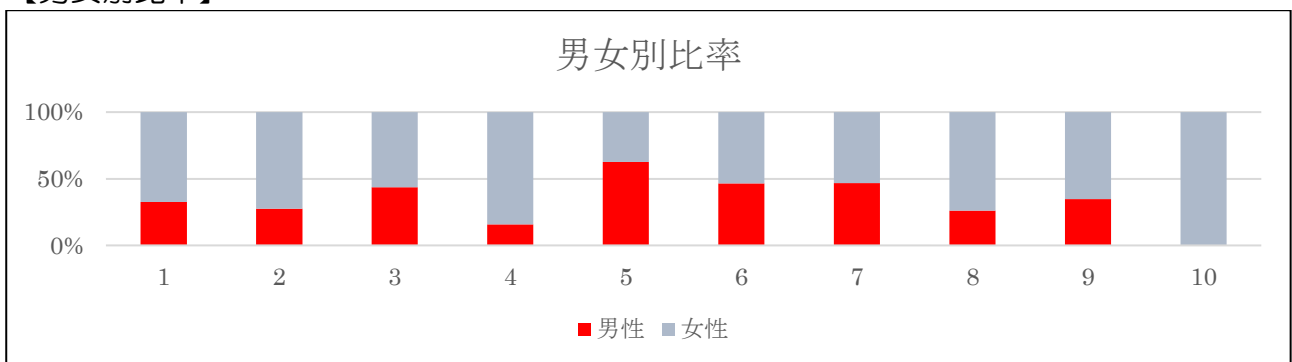
問12 あなたが今後学習したいことや関心のあることは何ですか。（複数可）

- ① スポーツ、レクリエーションなどの運動や健康に関する学習
- ② 茶道、華道、舞踊、絵画、書道、音楽などの趣味や芸術・芸能に関する学習
- ③ 仕事や職業上の知識、技術に関する学習（パソコン含む）
- ④ 料理、育児など家庭生活に関する学習
- ⑤ 政治、経済、時事問題など社会生活に関する学習
- ⑥ 語学、文学、歴史など一般教養に関する学習
- ⑦ 余市町の歴史、文化財などに関する学習
- ⑧ 社会福祉・ボランティア活動に関する学習
- ⑨ 国際交流・国際文化に関する学習（英会話など）
- ⑩ その他（ ）

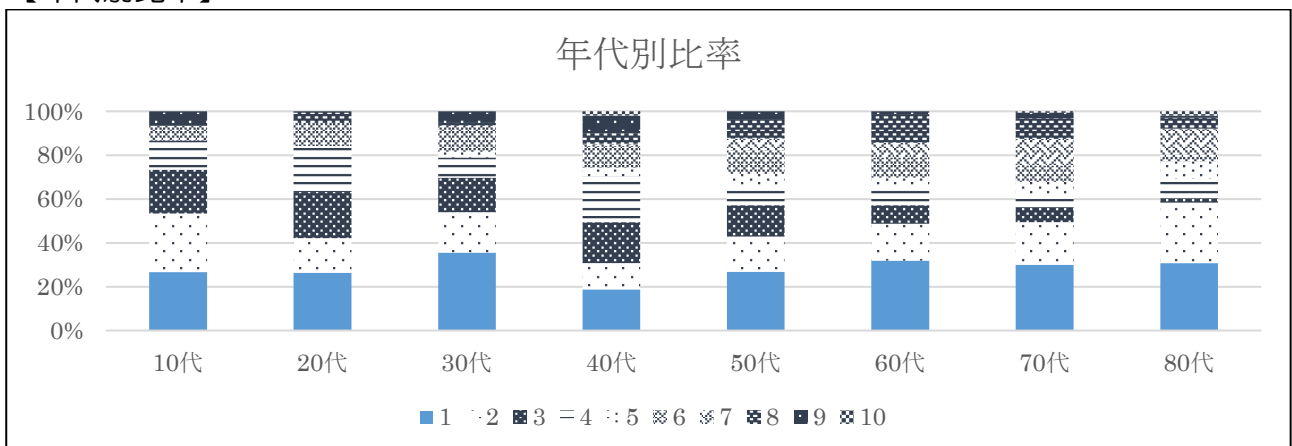
【関心のある学習について、スポーツ・レクリエーションなどの健康に関する学習の割合が増加。】



【男女別比率】



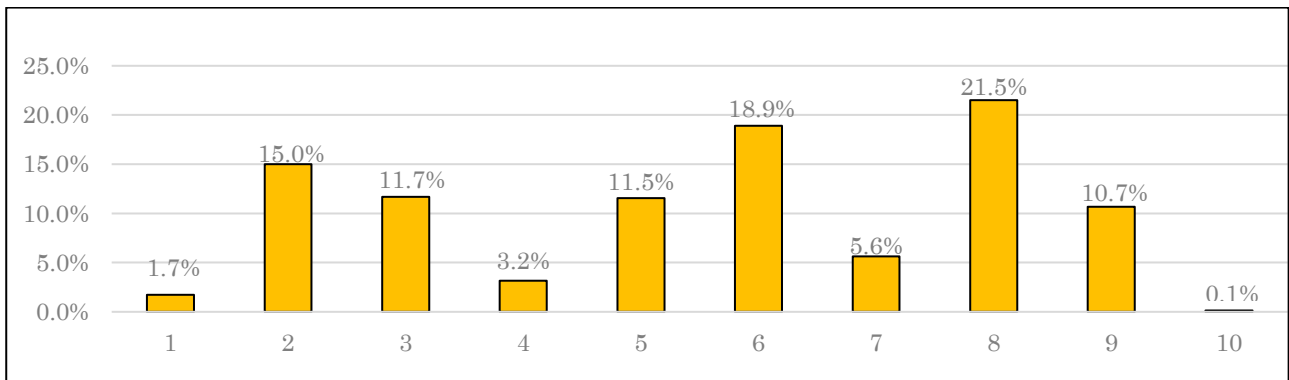
【年代別比率】



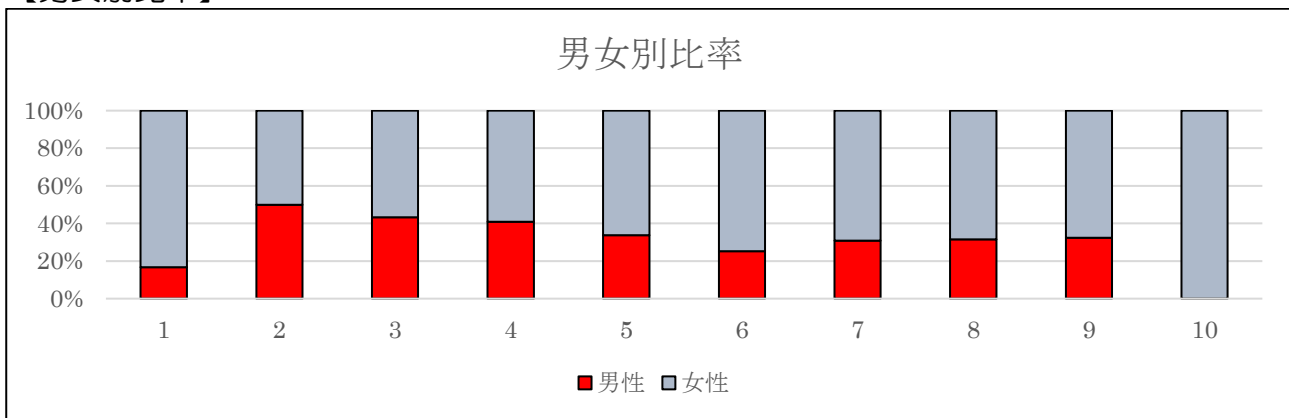
問13 どのような方法で学習を行いたいですか。（複数可）

- ① 通信教育、放送大学など
- ② インターネットなどを利用
- ③ テレビ、図書
- ④ 職場の研修会などに参加
- ⑤ 民間が開設する教室や各種学校に参加
- ⑥ 町や教育委員会が開設する講座、教室などに参加
- ⑦ 青年・女性団体、PTA、老人クラブなどの活動に参加
- ⑧ 趣味の会、文化・スポーツ団体、サークルに参加
- ⑨ 家族や友人など仲間同士で活動
- ⑩ その他（ ）

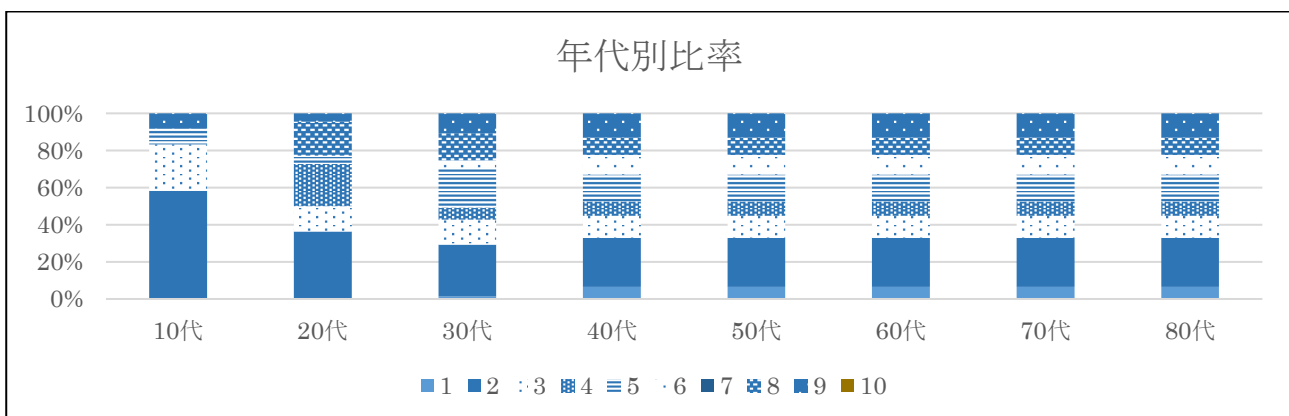
【学習方法について、インターネット、テレビ・図書などを利用する割合が増加、町や教育委員会が開設する講座などに参加する割合が減少。】



【男女別比率】



【年代別比率】

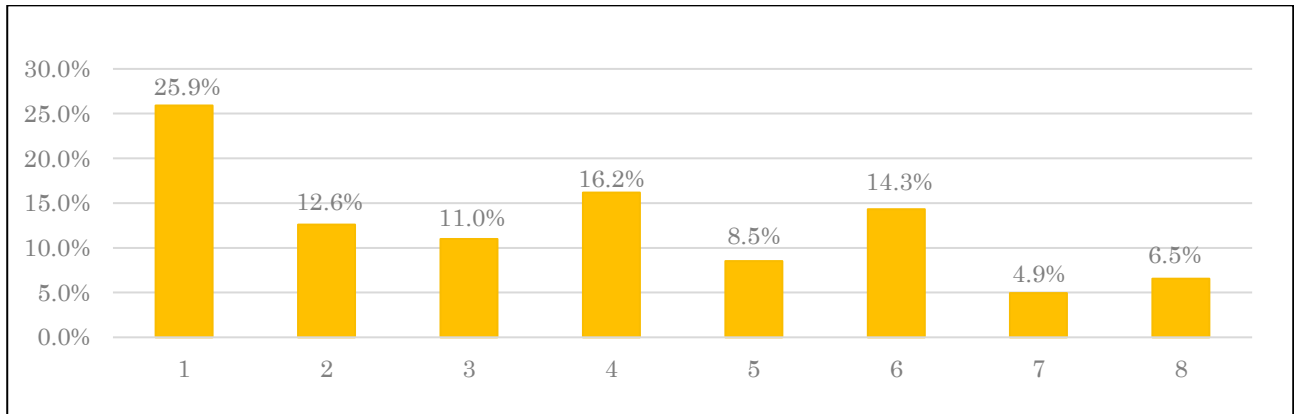


Ⅳ 学習情報について

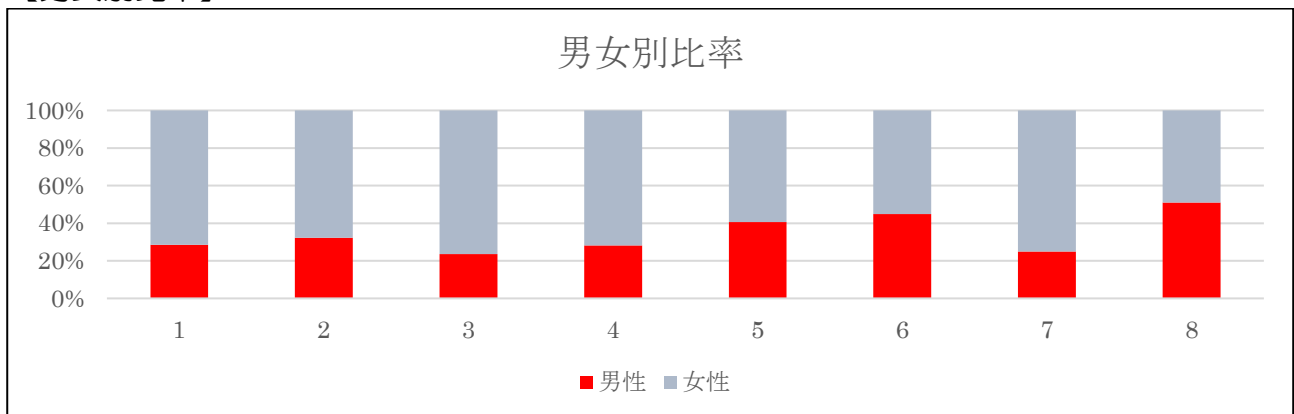
問14 学習やスポーツ活動を進めるうえで、情報をどこから得ていますか。（複数可）

- ① 町広報「よいち」、教育委員会「生涯学習だより」
- ② 新聞、雑誌、新聞折込み
- ③ 公民館、体育館、図書館などの施設
- ④ 知人や友人の口コミ
- ⑤ テレビ、ラジオ
- ⑥ インターネット
- ⑦ 区会の回覧やお知らせ
- ⑧ 学校、職場、所属団体

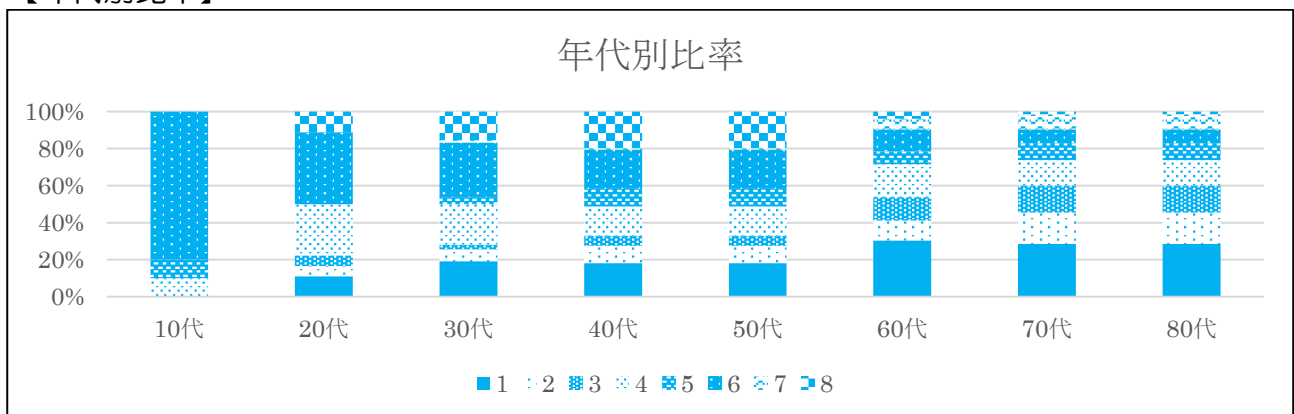
【学習情報について、町広報・口コミの割合が多く、インターネットの割合が増加。】



【男女別比率】



【年代別比率】

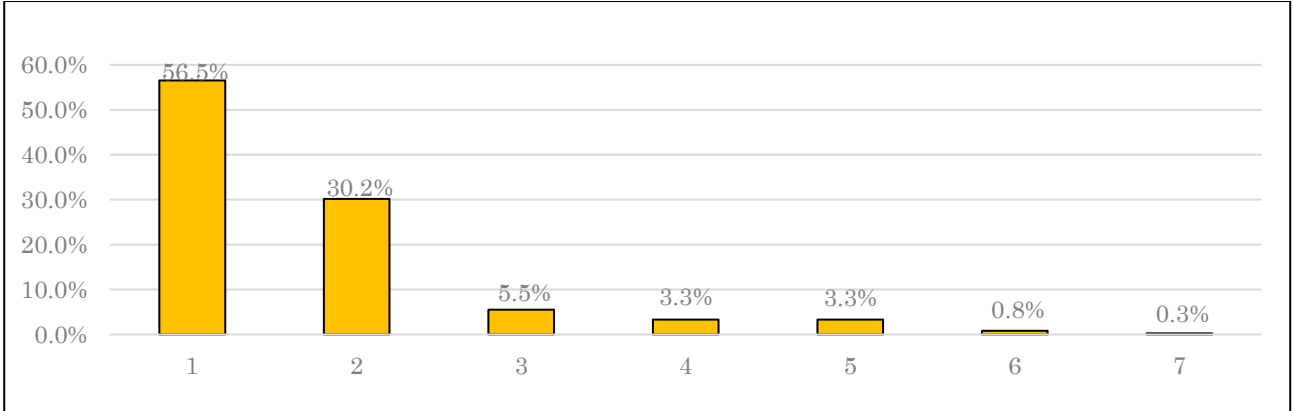


V 図書館・読書活動について

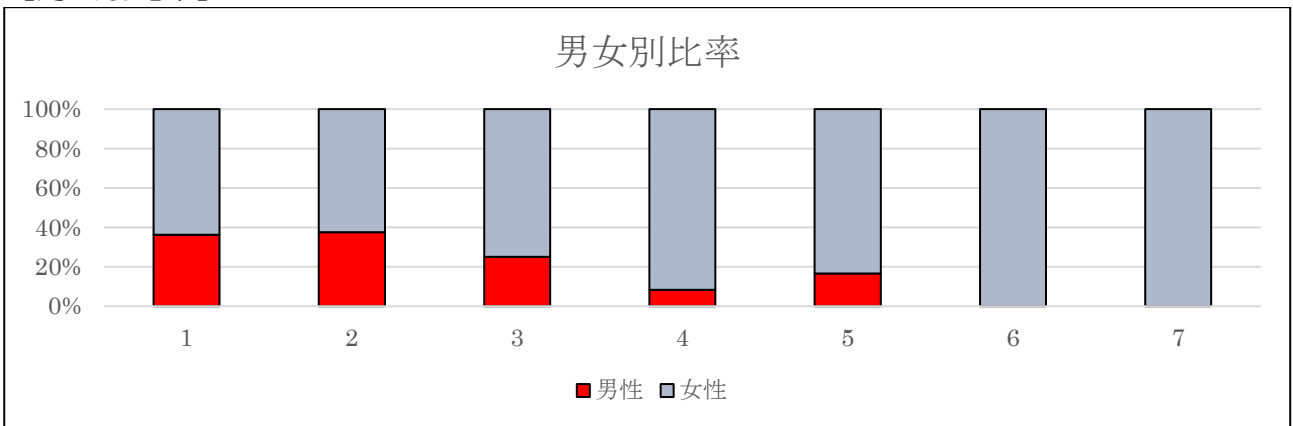
問16 あなたは、この1年間で図書館を何回利用しましたか。

- ① 利用しなかった ② 1～10回 ③ 10回以上 ④ 20回以上
 ⑤ 30回以上 ⑥ 40回以上 ⑦ 50回以上

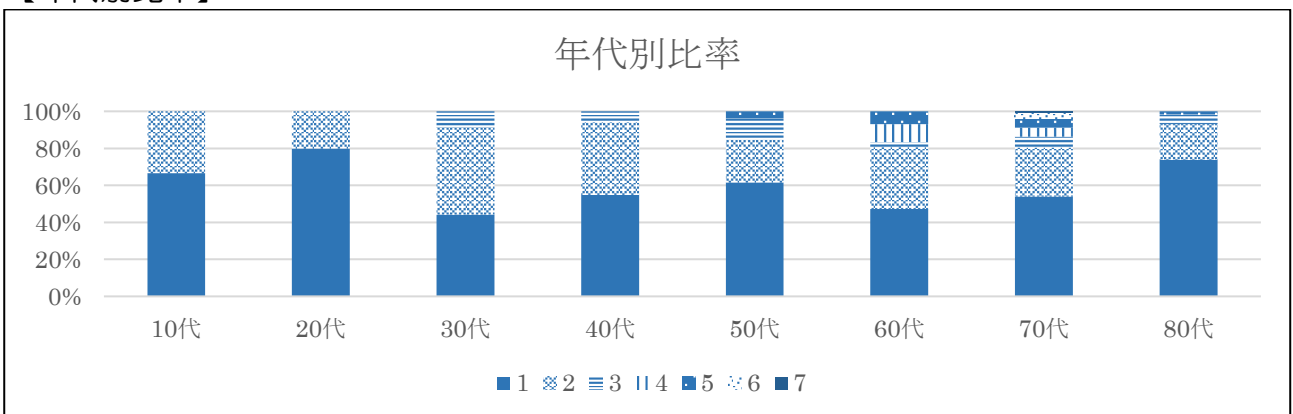
【図書館利用について、利用しなかった割合が増加。】



【男女別比率】



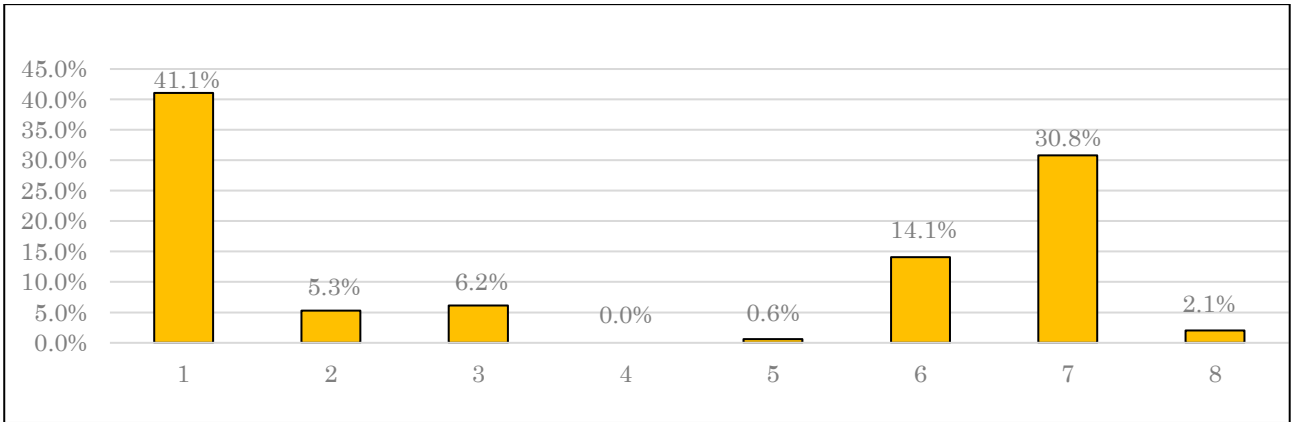
【年代別比率】



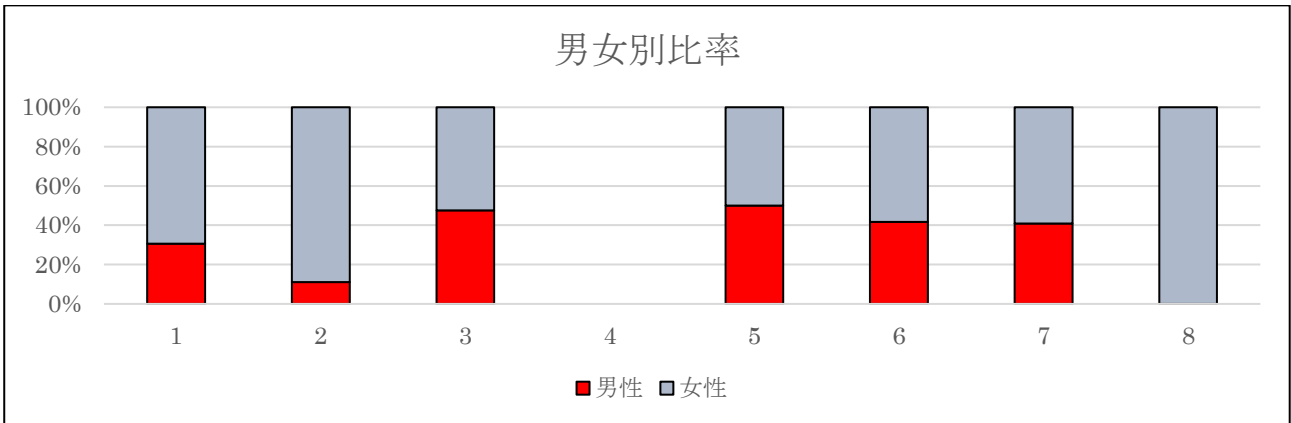
問17 あなたはこの1年間でどのような事で図書館を利用しましたか。

- ① 本を借りた ② イベントや事業に参加した ③ 新聞・雑誌を利用
- ④ ビデオ・DVDなどを利用した ⑤ 映画会を利用 ⑥ 調べ物をするため利用
- ⑦ 利用したことがない ⑧ その他（ ）

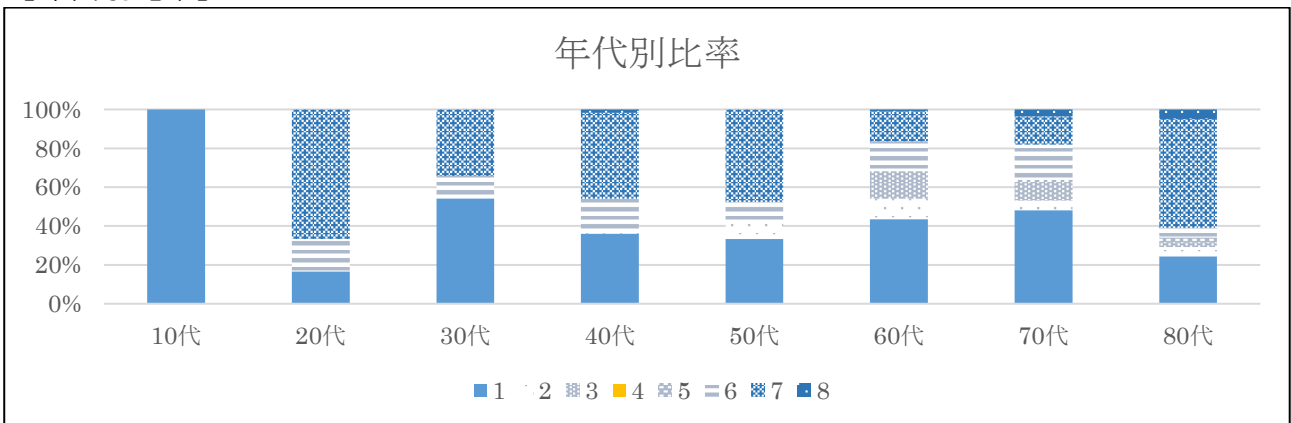
【図書館利用について、本を借りた割合が多いが、利用したことがない割合が増加。】



【男女別比率】



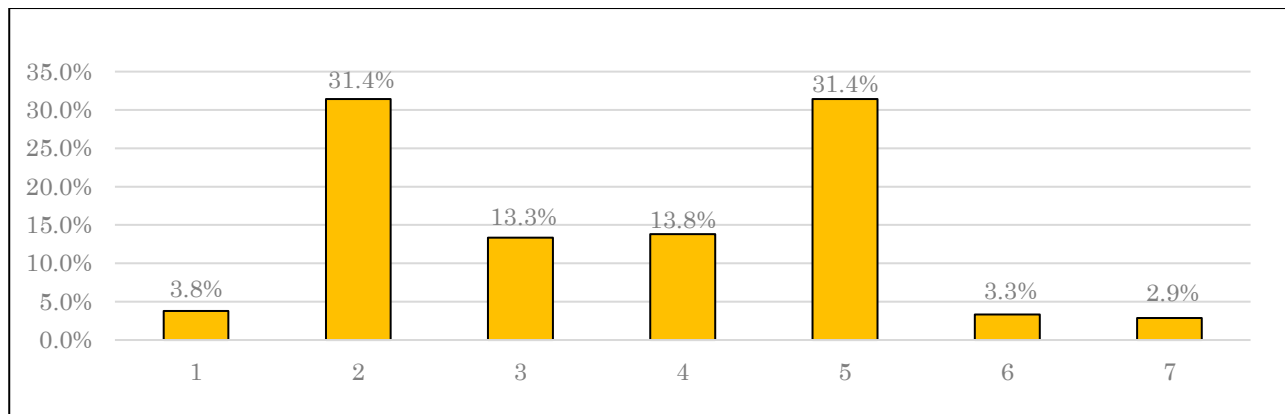
【年代別比率】



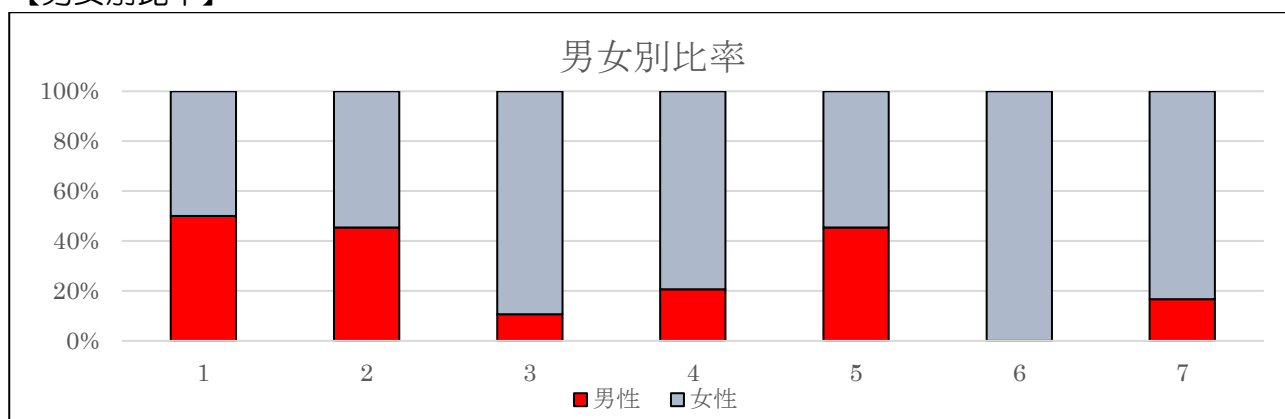
問18 利用しなかった人にお聞きします。図書館を利用しなかったのは、下記のどの理由に当てはまりますか。

- ① 読みたい本がない
- ② 本は自分で買ってくる
- ③ 遠くて行けない
- ④ 開館時間に行けない
- ⑤ 興味が無い
- ⑥ 利用のしかたがわからない
- ⑦ その他（ ）

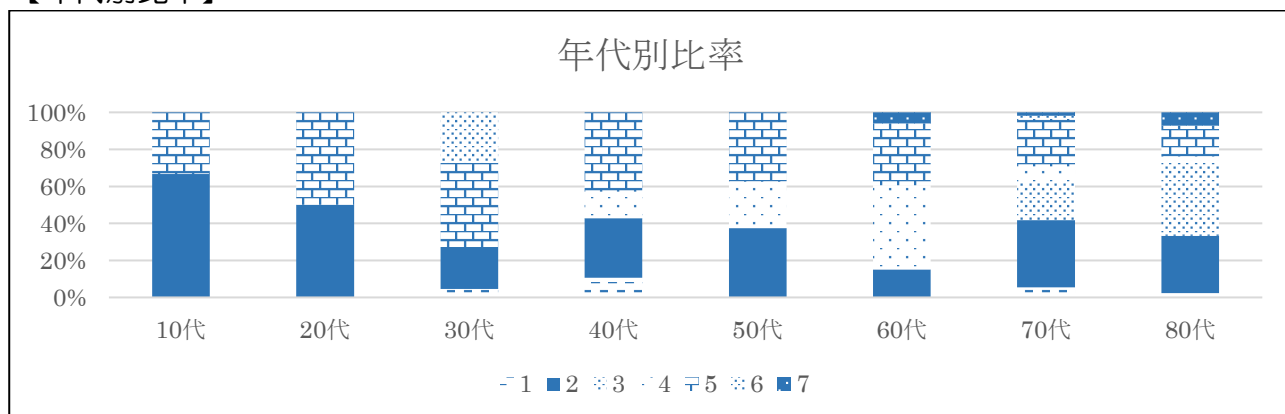
【利用しなかった理由として、本は自分で買う、興味が無いとの割合が多い。】



【男女別比率】



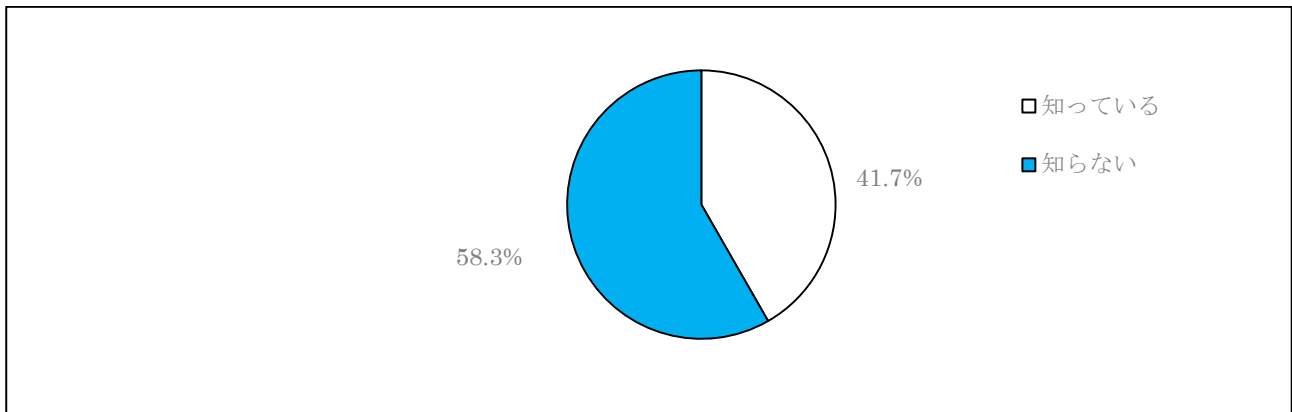
【年代別比率】



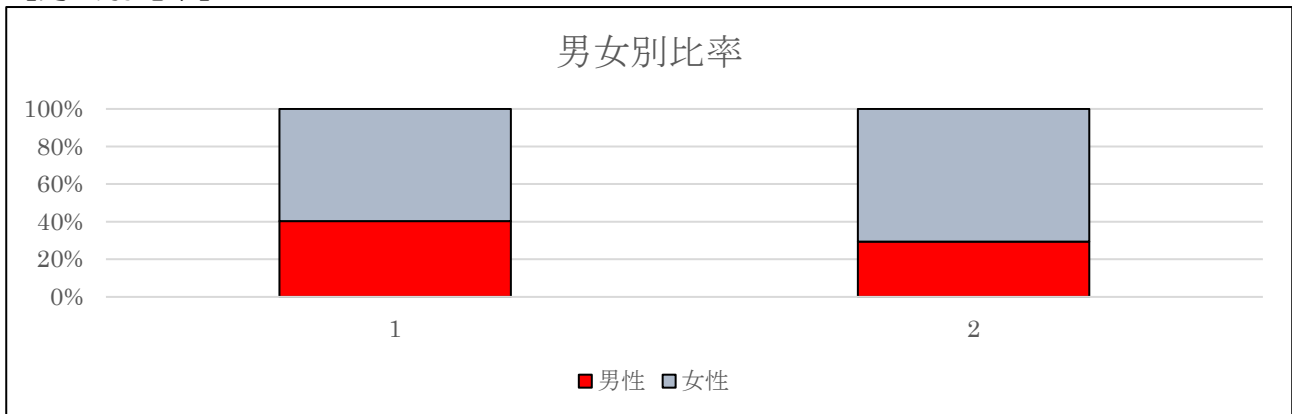
問19 余市町に「電子図書館」があるのを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない

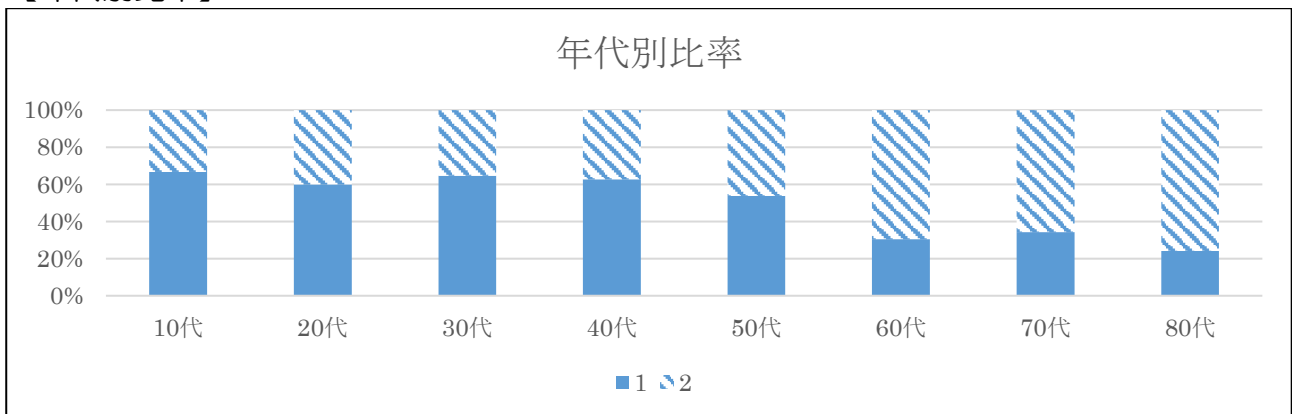
【電子図書館について、知らない割合が多い。】



【男女別比率】



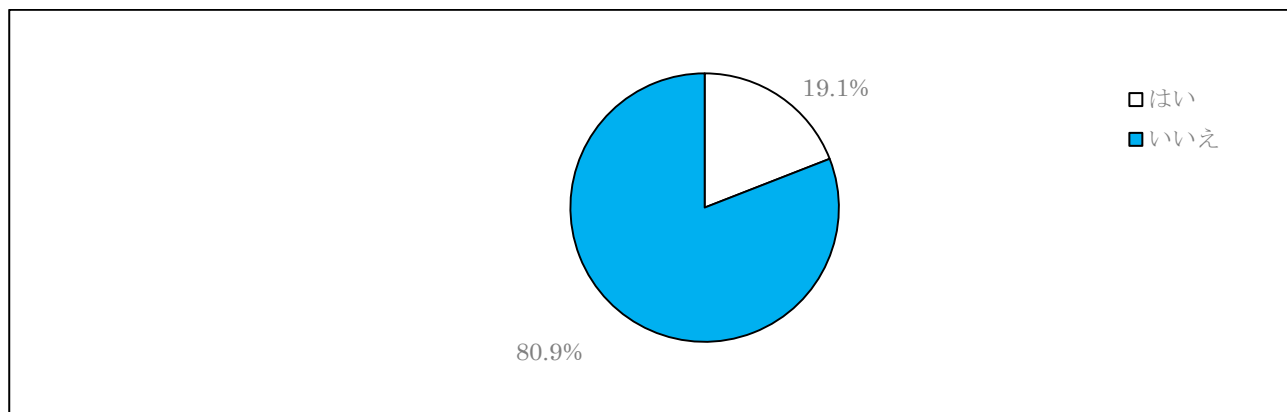
【年代別比率】



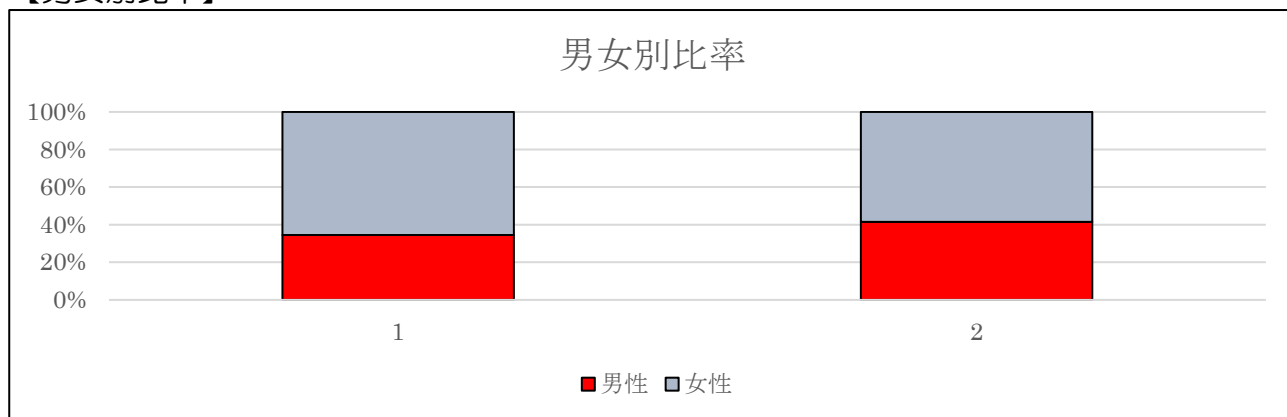
問20 知っている人にお聞きします。「電子図書館」を利用したことがありますか。

- ① はい ② いいえ

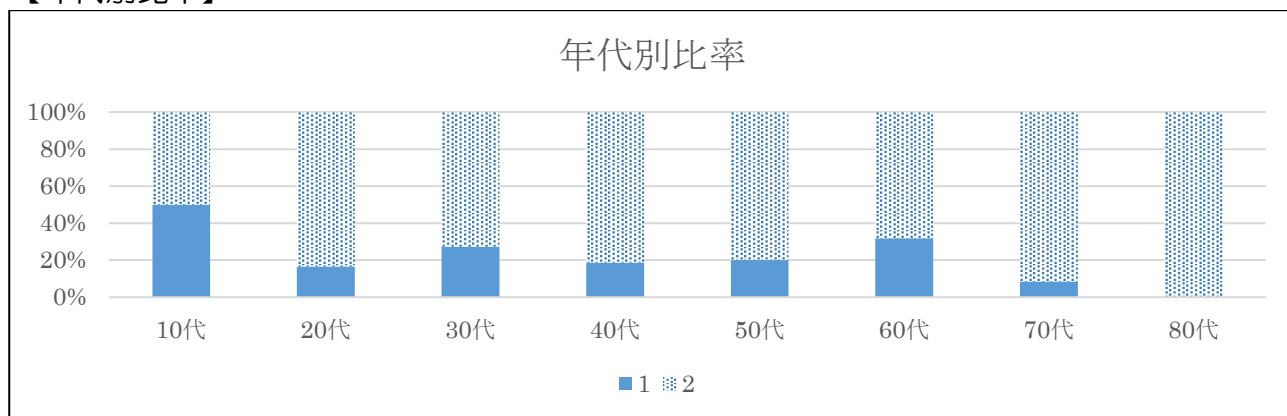
【電子図書館の利用について、利用したことがない割合が多数。】



【男女別比率】



【年代別比率】

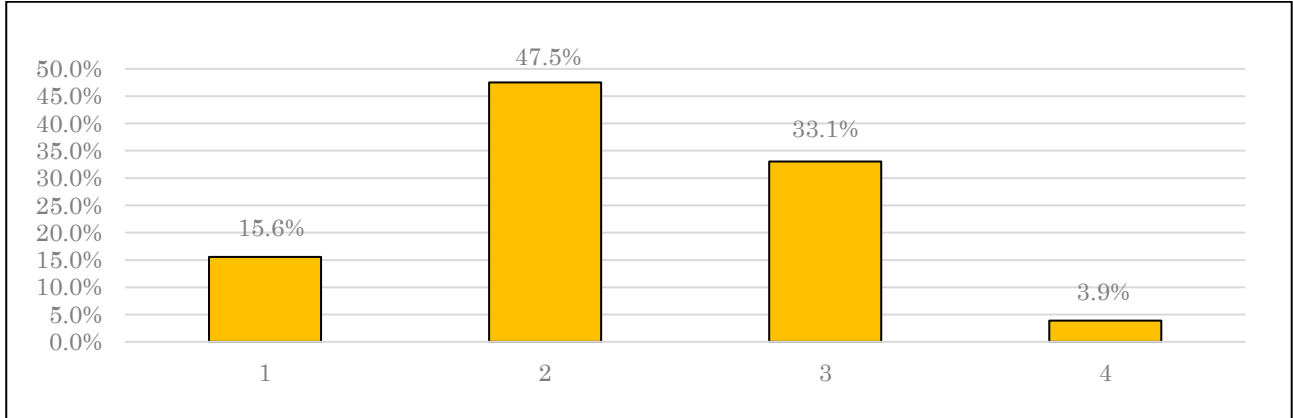


Ⅵ 文化財について

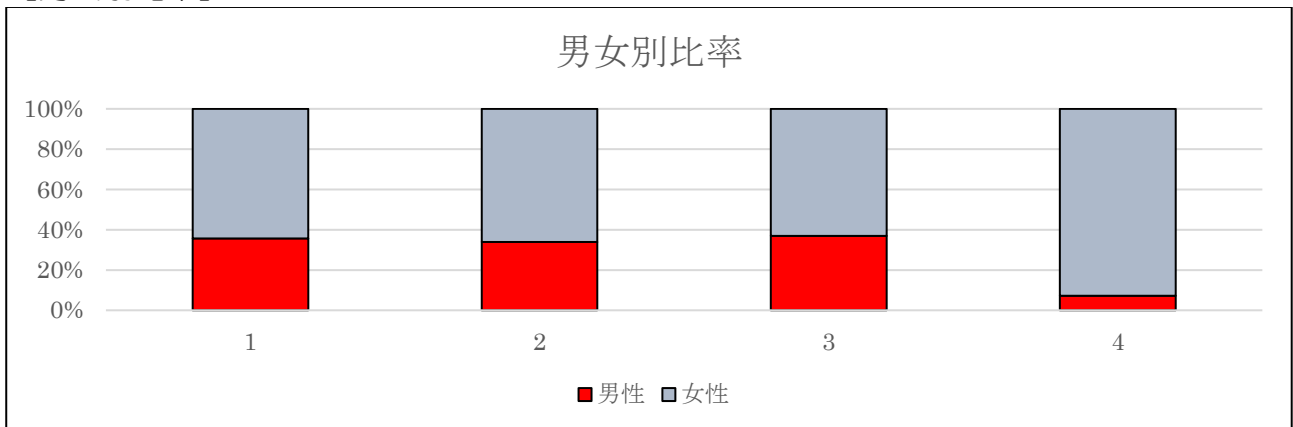
問2 1 余市町は国指定のものを含め、貴重な文化財が多くありますが、あなたは文化財について関心がありますか。

- ① 大いに関心がある ② 多少は関心がある
 ③ あまり関心がない ④ まったく関心がない

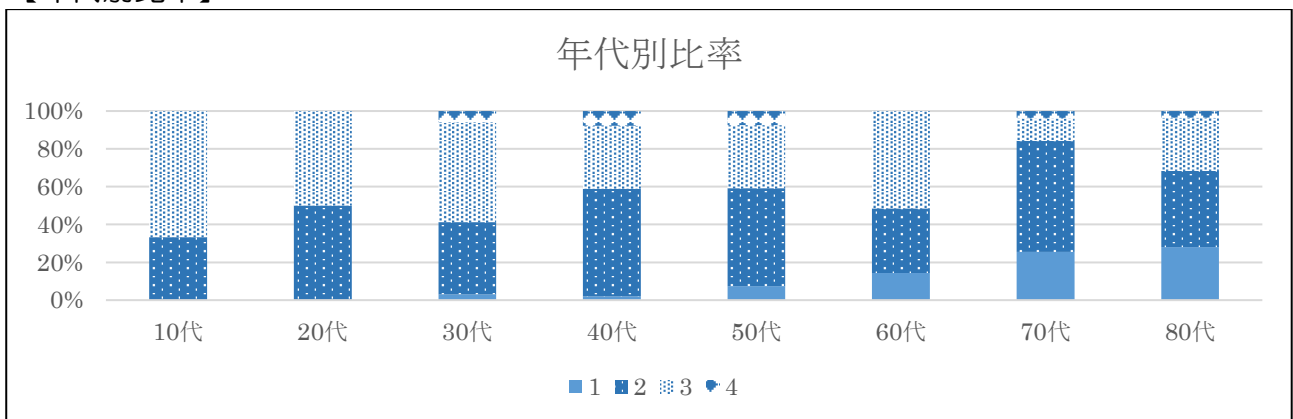
【文化財の関心については、関心がある割合が多数。】



【男女別比率】



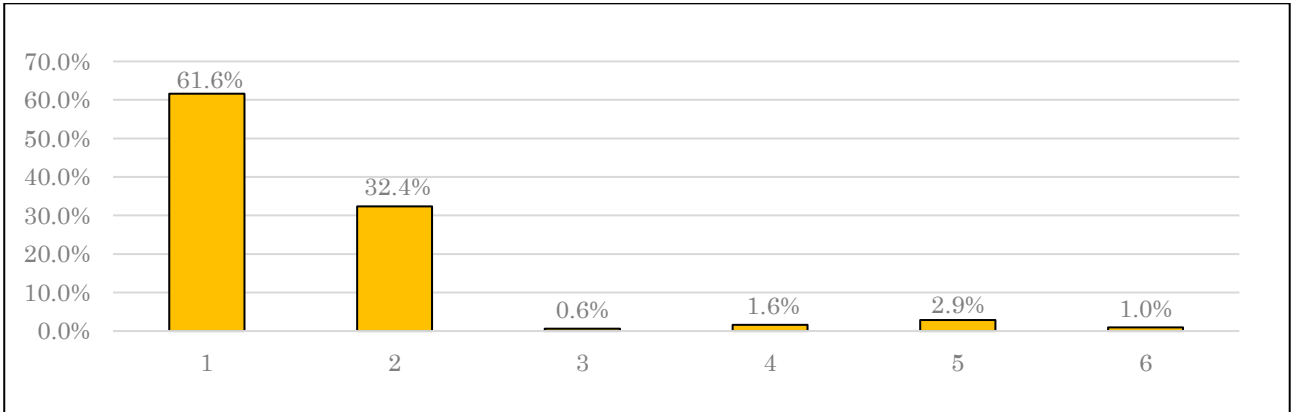
【年代別比率】



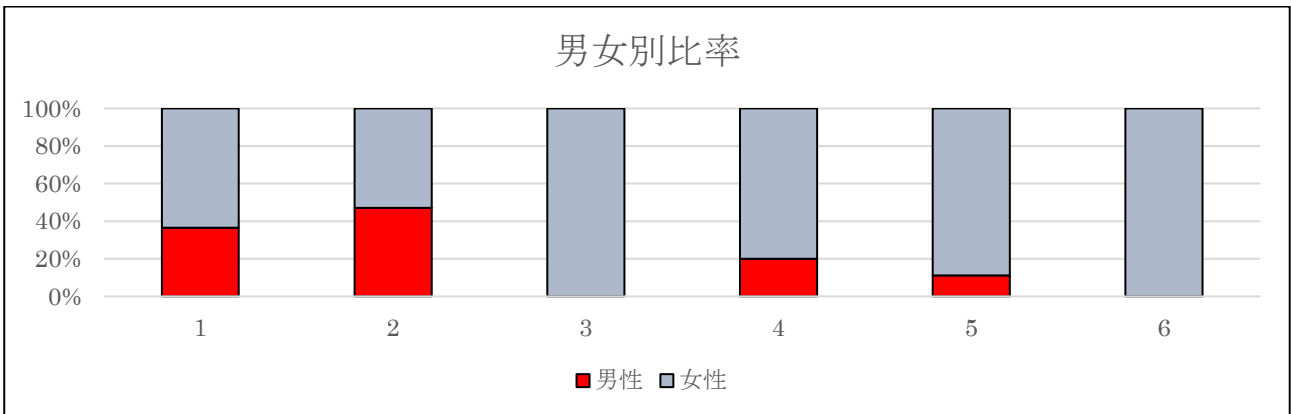
問2 2 町内の文化財に関心があり、関わってみたいと思うものをお答え下さい。

- ① 見学だけでよい
- ② 関係する講座、講演会への参加
- ③ 解説ボランティア
- ④ 施設の整備等のボランティア
- ⑤ 文化財の資料整理のボランティア
- ⑥ その他（ ）

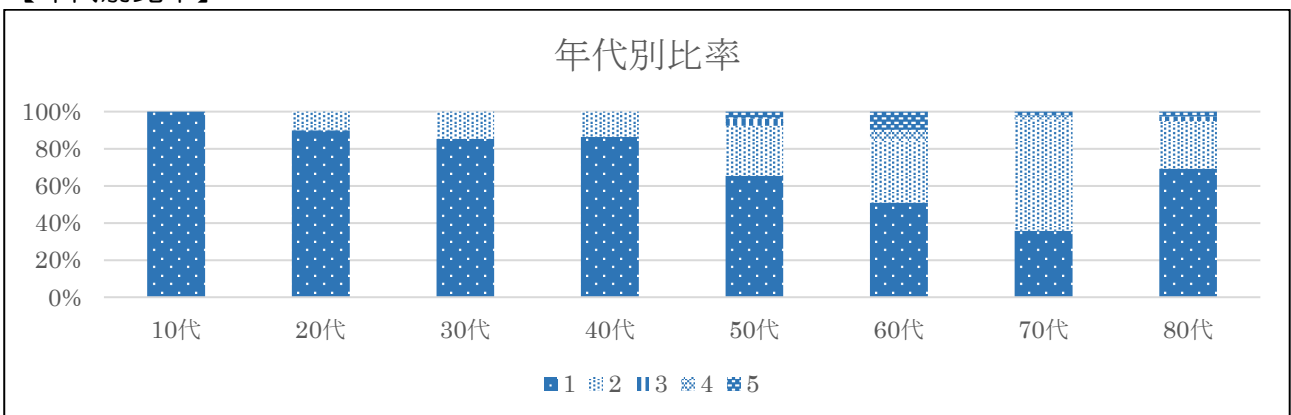
【文化財への関わりについて、見学・講演会への参加の割合が多数。】



【男女別比率】



【年代別比率】

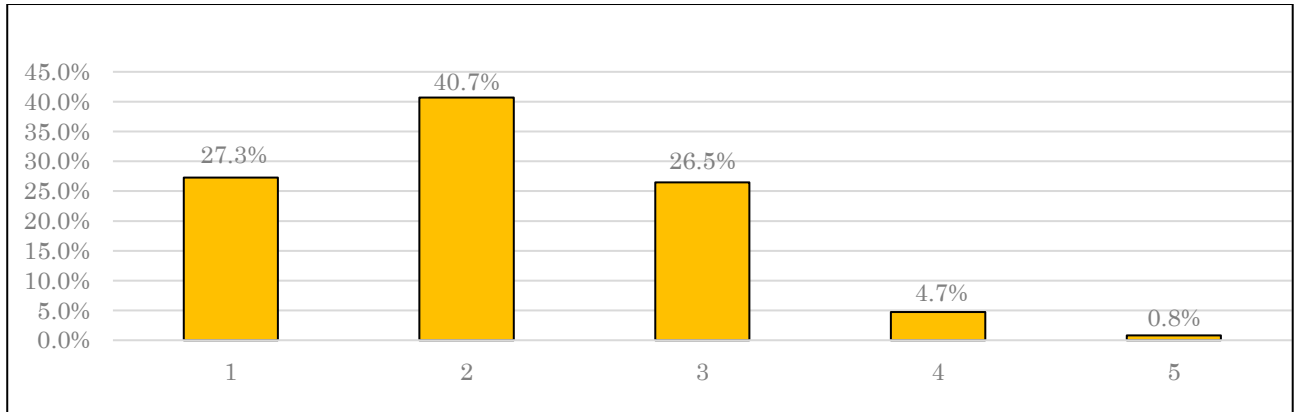


Ⅶ スポーツ・レクリエーションについて

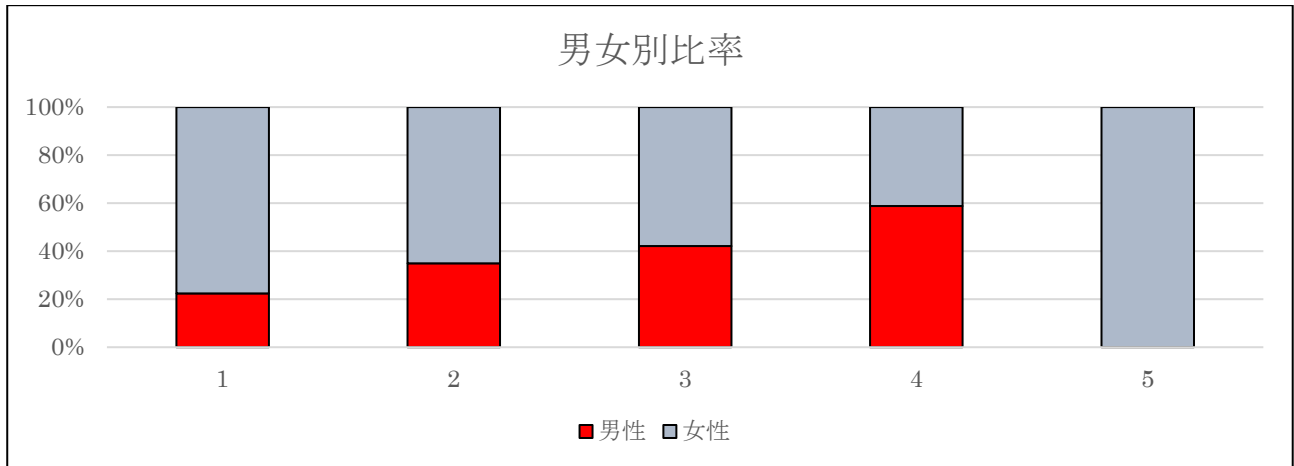
問23 あなたは現在、運動不足を感じていますか。

- ① 大いに感じる ② 少し感じる ③ あまり感じない
 ④ 全く感じない ⑤ わからない

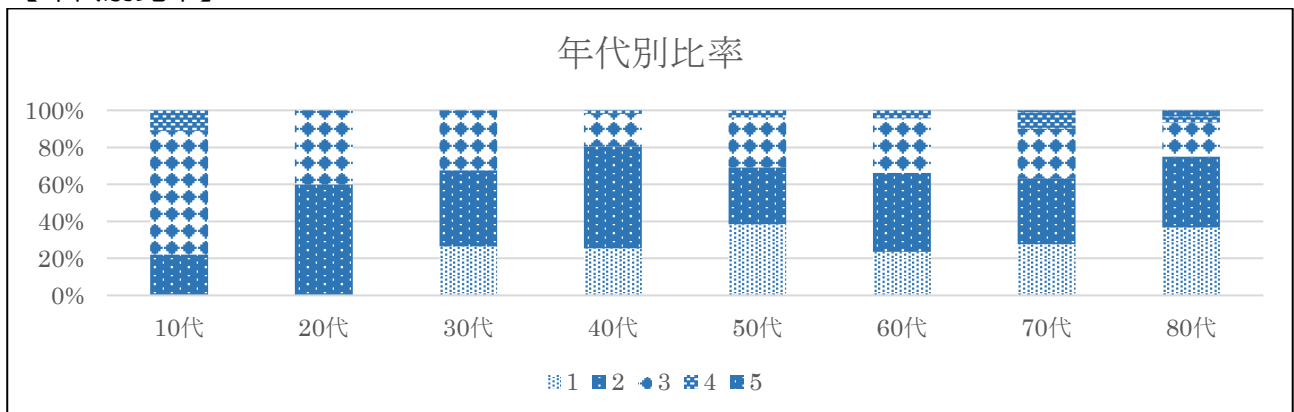
【運動不足と感じている方の割合が多数、運動不足と感じない割合が増加。】



【男女別比率】



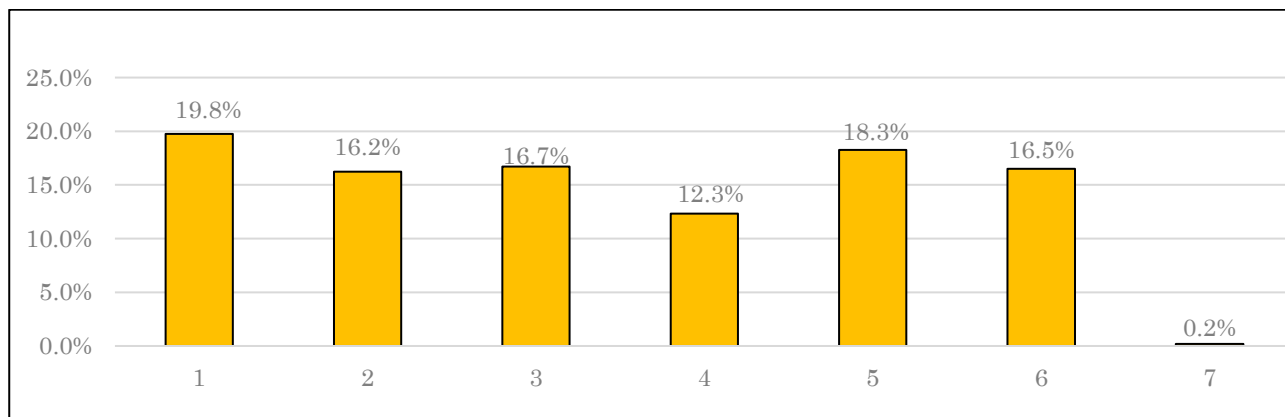
【年代別比率】



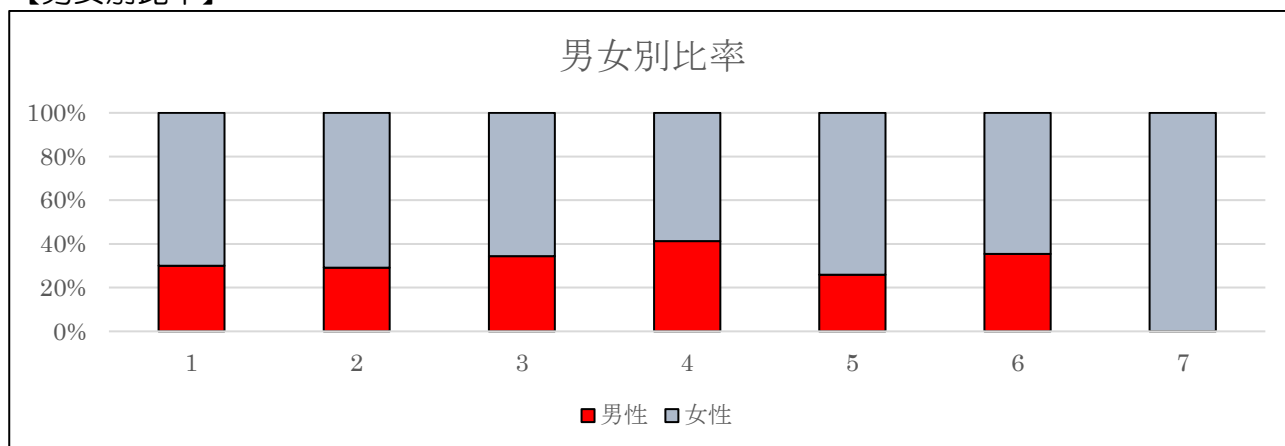
問24 あなたは、日頃から健康や体力維持のために心がけていることはありますか。

- ① 睡眠や休養をできるだけとる
- ② 規則正しい生活を送る
- ③ ストレスを溜めない
- ④ 運動やスポーツをする
- ⑤ 食生活に気を付けている
- ⑥ 健康を意識して体を動かしている
- ⑦ その他（ ）

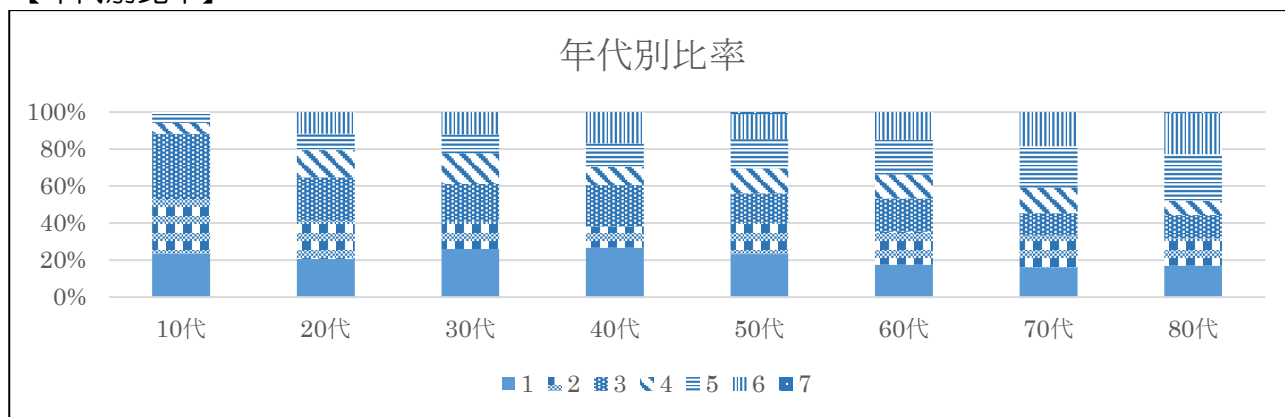
【健康・体力維持について、睡眠や休養をできるだけとる割合が増加、食生活に気を付けている割合が減少。】



【男女別比率】



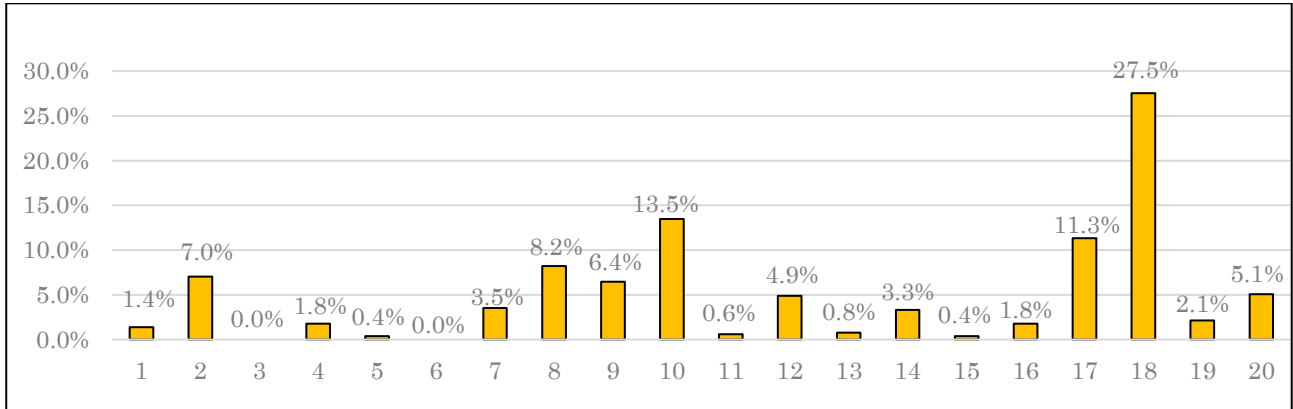
【年代別比率】



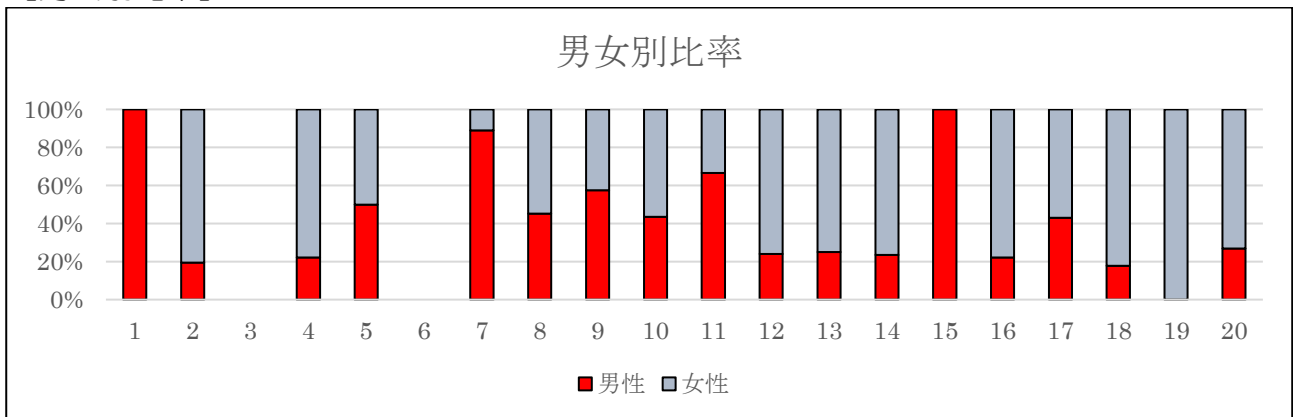
問25 あなたがこれから行ってみたいスポーツについてお答え下さい。（複数可）

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| ① 野球 | ② 水泳 | ③ サッカー |
| ④ バレーボール | ⑤ 剣道 | ⑥ 柔道 |
| ⑦ ゴルフ | ⑧ ジョギング | ⑨ スキー |
| ⑩ パークゴルフ | ⑪ ゲートボール | ⑫ バトミントン |
| ⑬ バスケットボール | ⑭ 卓球 | ⑮ ソフトボール |
| ⑯ テニス | ⑰ 登山 | ⑱ 健康づくり体操 |
| ⑲ エアロビクス | ⑳ その他（ ） | |

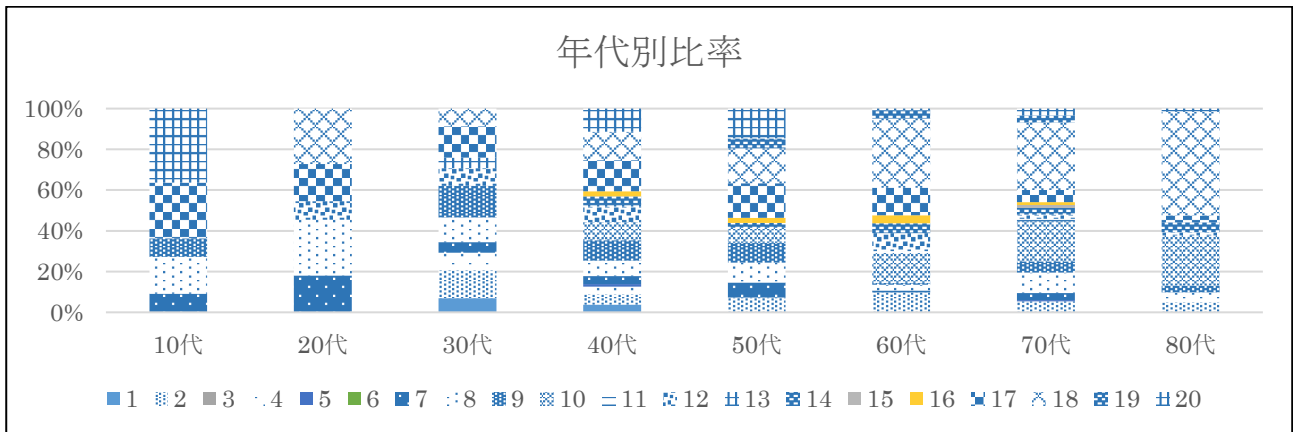
【これから行なってみたいスポーツについて、健康づくり体操の割合が増加。】



【男女別比率】



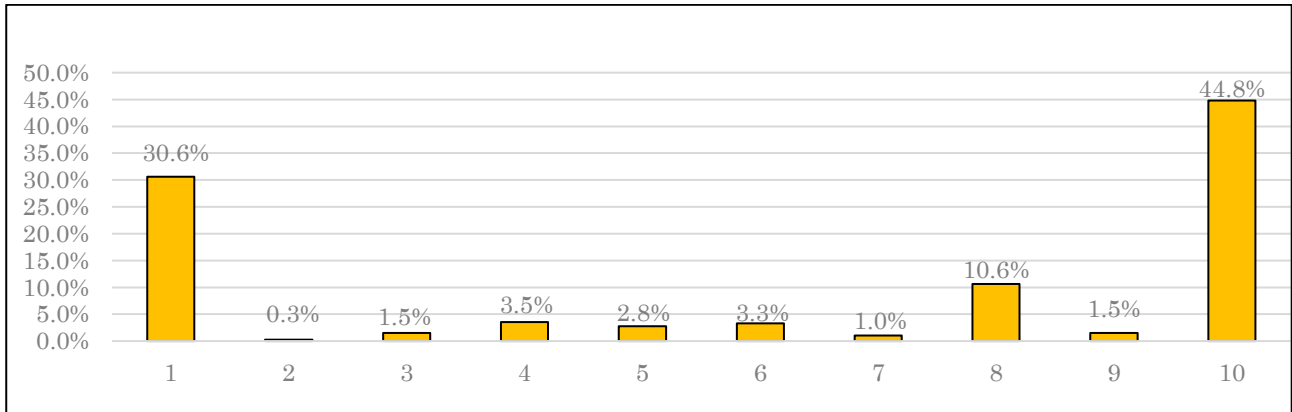
【年代別比率】



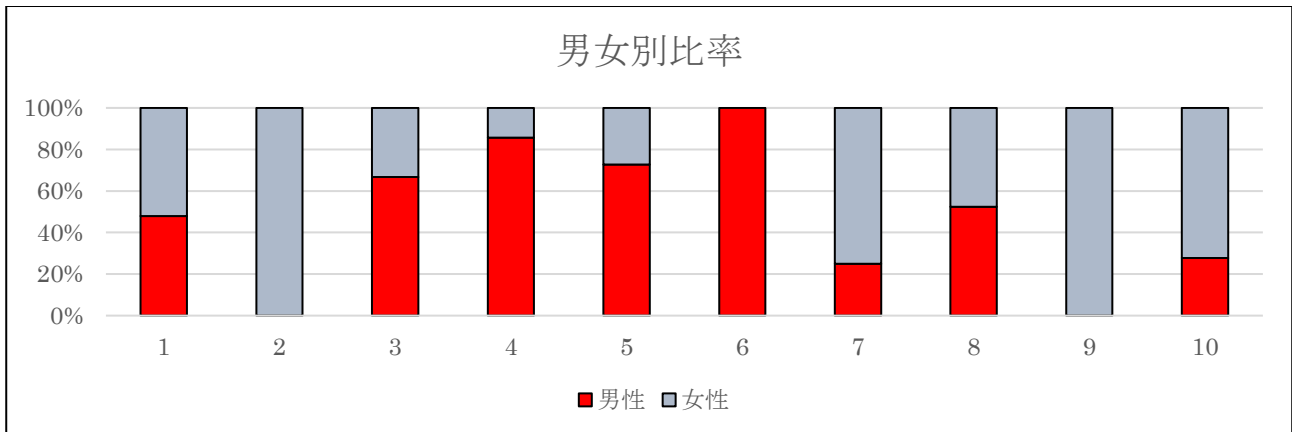
問26 次のスポーツ施設の中で、あなたが一年間にスポーツ活動で利用したことがある施設をお答え下さい。（複数可）

- ① 総合体育館 ② 沢西児童生徒あけぼのプール ③ テニスコート
- ④ 野球場 ⑤ 陸上競技場 ⑥ 自由広場
- ⑦ 多目的広場 ⑧ パークゴルフ場
- ⑨ その他（ ） ⑩ 利用したことがない

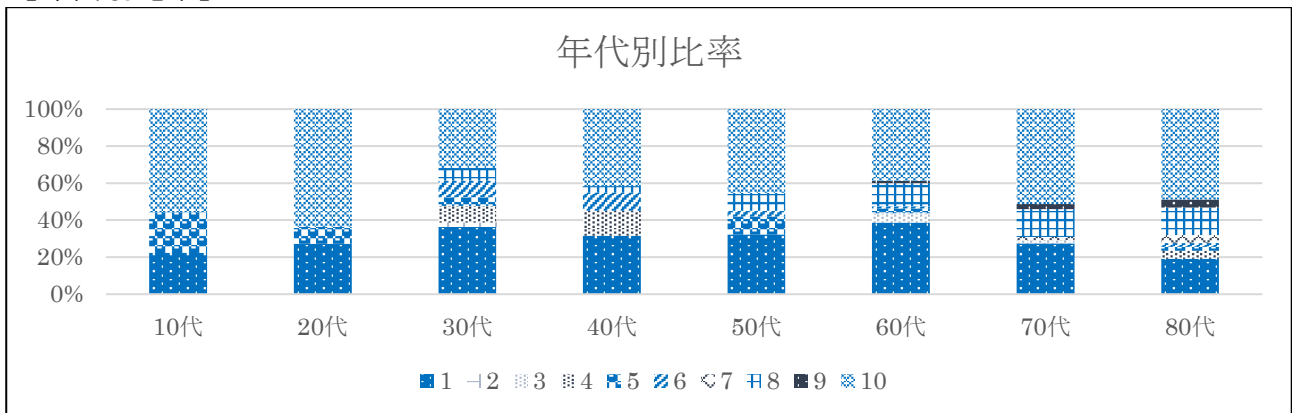
【スポーツ施設の利用について、施設を利用したことがない割合が増加。】



【男女別比率】



【年代別比率】

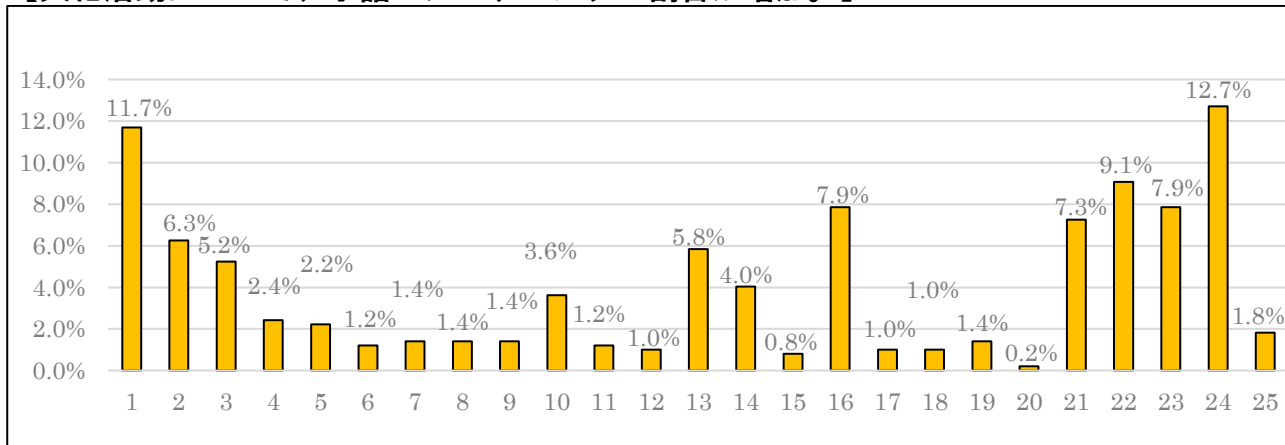


Ⅷ 芸術・文化

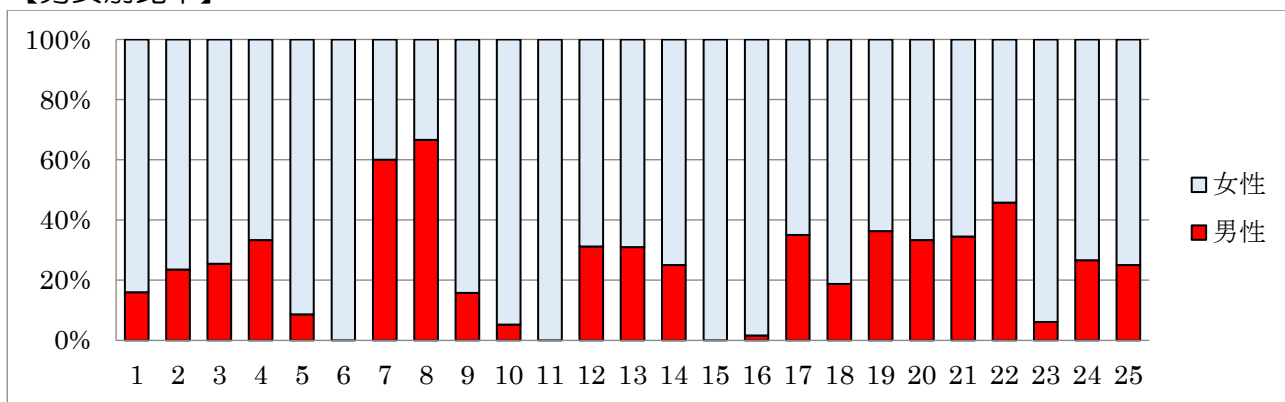
問27 あなたが学んでいることや学んでみたい文化活動についてお答え下さい。（複数可）

- | | | | | |
|--------|--------|------|----------|---------|
| ① 書道 | ② 絵画 | ③ 陶芸 | ④ 工芸 | ⑤ 茶道 |
| ⑥ 華道 | ⑦ 囲碁 | ⑧ 将棋 | ⑨ 民謡 | ⑩ 社交ダンス |
| ⑪ 舞踊 | ⑫ 詩吟 | ⑬ 楽器 | ⑭ 合唱 | ⑮ フラダンス |
| ⑯ 手芸 | ⑰ 俳句 | ⑱ 短歌 | ⑲ 川柳 | ⑳ 文芸 |
| ㉑ 外国語 | ㉒ パソコン | ㉓ 手話 | ㉔ ガーデニング | |
| ㉕ その他（ | | | | ） |

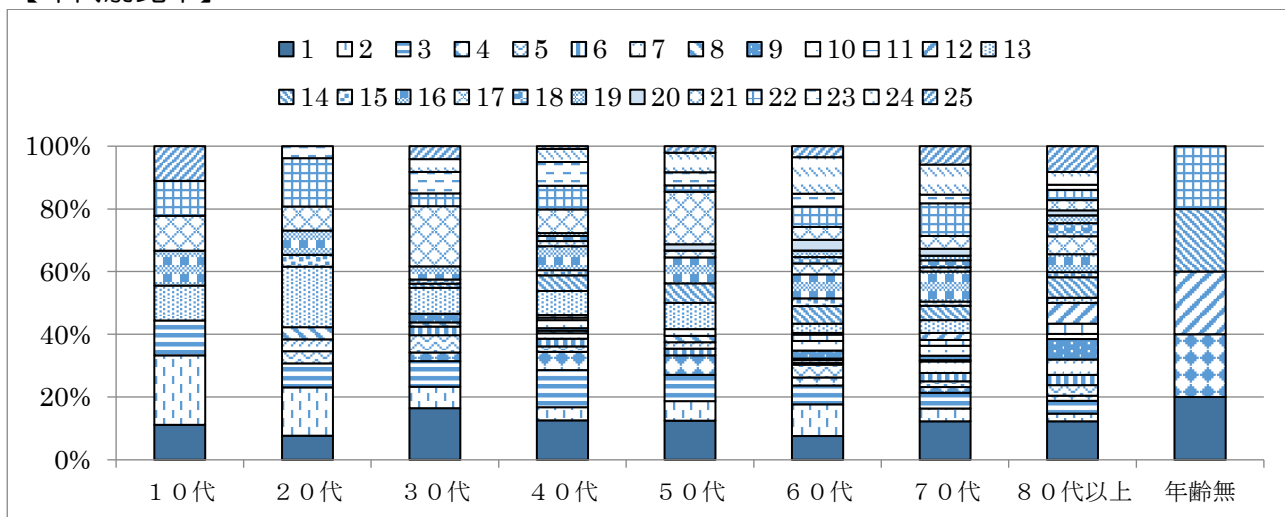
【文化活動について、手話・ガーデニングの割合が増加。】



【男女別比率】



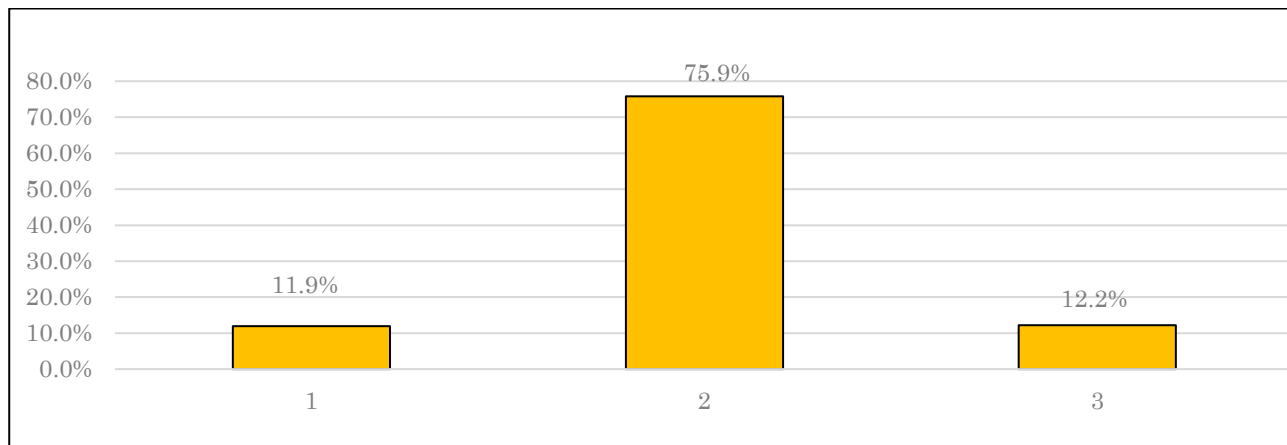
【年代別比率】



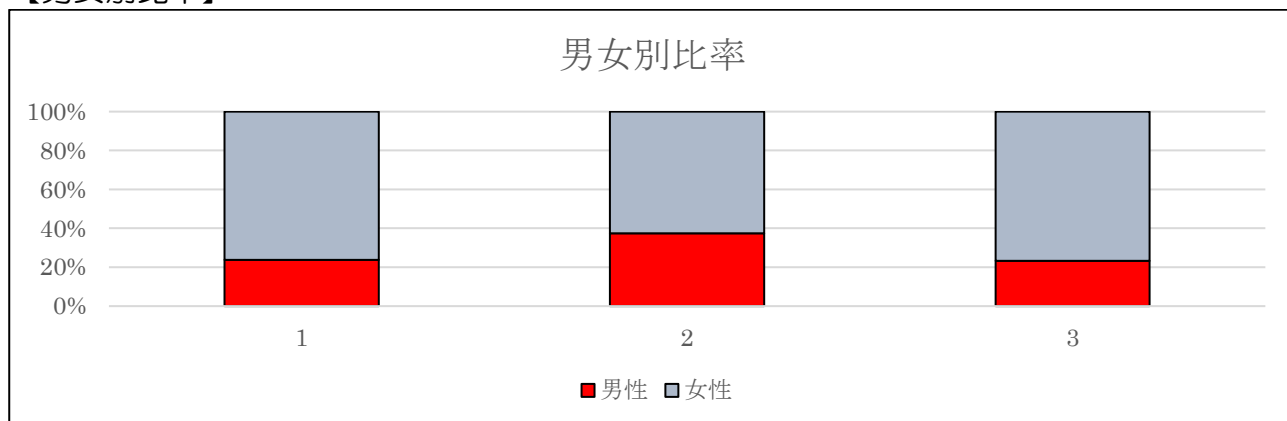
問29 町内の学習施設を利用した方にお聞きします。施設は利用しやすいですか。

- ① 利用しやすい ② ふつう ③ 利用しにくい

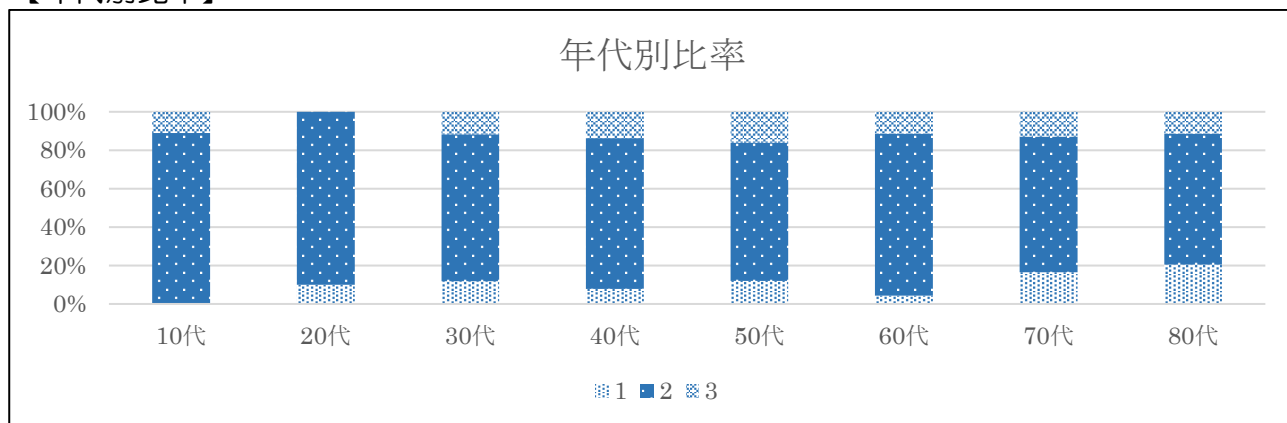
【施設利用について、利用しやすいが減少、ふつうの割合が増加、利用しにくいの割合に変化なし。】



【男女別比率】



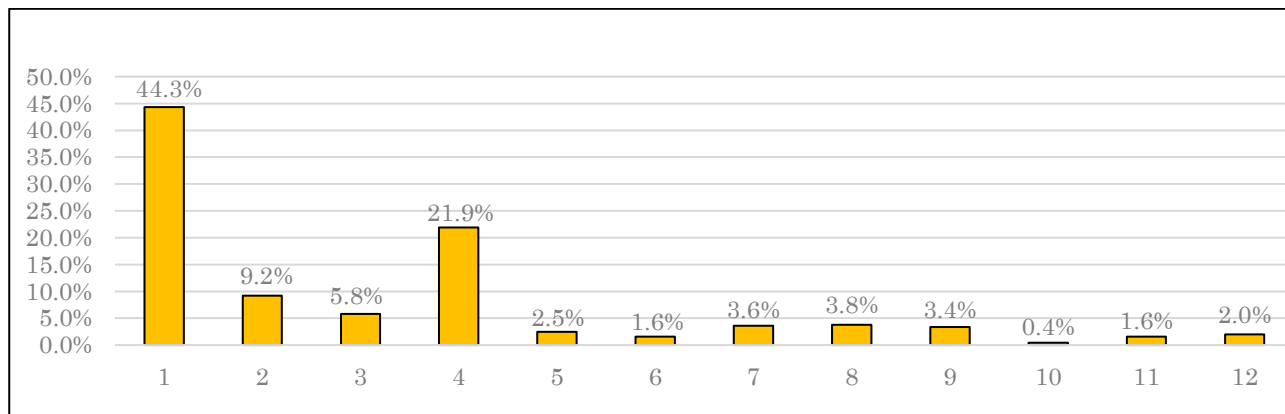
【年代別比率】



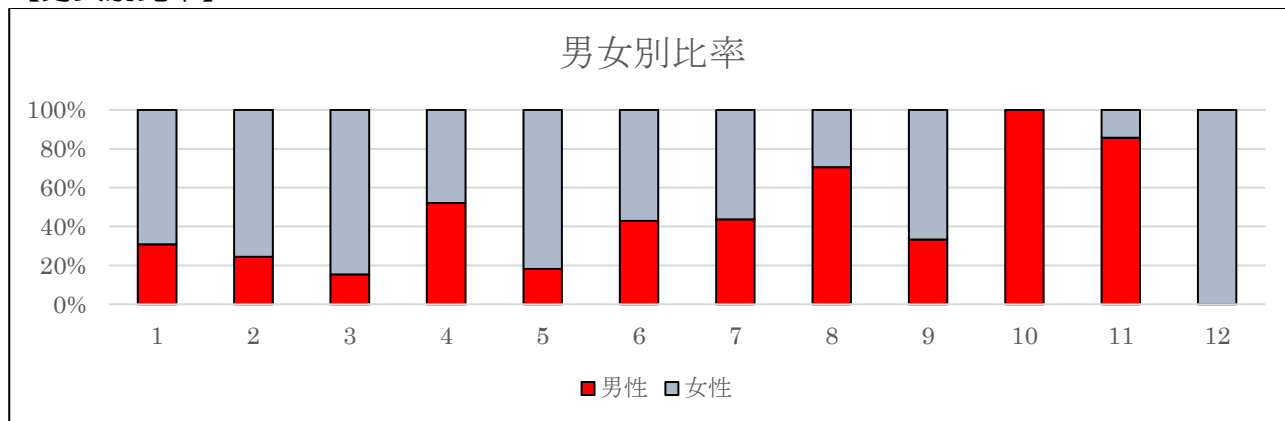
問30 現在ある学習施設の中で、今後学習活動を進める上で整備・充実が必要と思う施設をお答え下さい。（複数可）

- ① 中央公民館 ② 図書館 ③ 水産博物館 ④ 総合体育館
- ⑤ 沢西児童生徒あけぼのプール ⑥ テニスコート ⑦ 陸上競技場
- ⑧ 野球場 ⑨ パークゴルフ場 ⑩ ジャンプ競技場
- ⑪ 自由広場 ⑫ その他の施設（ ）

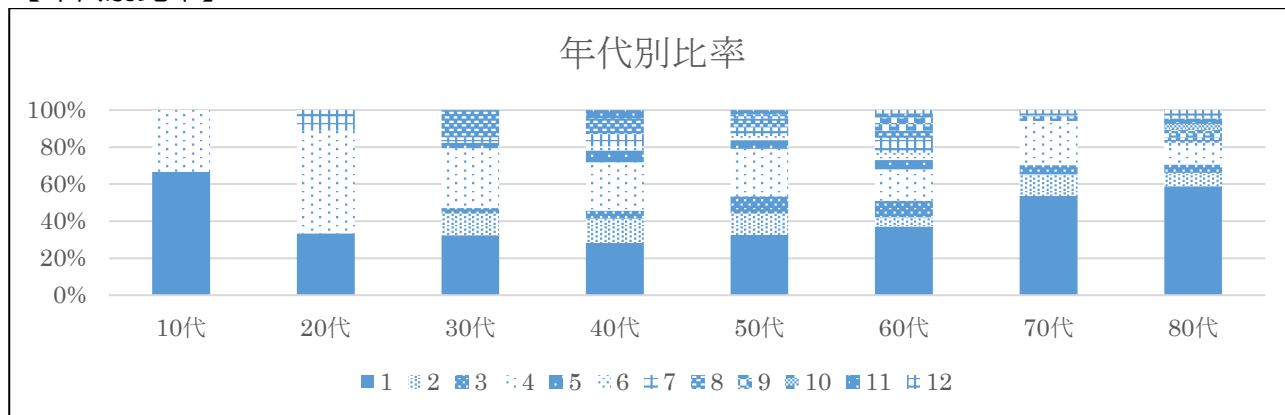
【整備・充実が必要と思う施設について、公民館・体育館の割合が増加。】



【男女別比率】



【年代別比率】

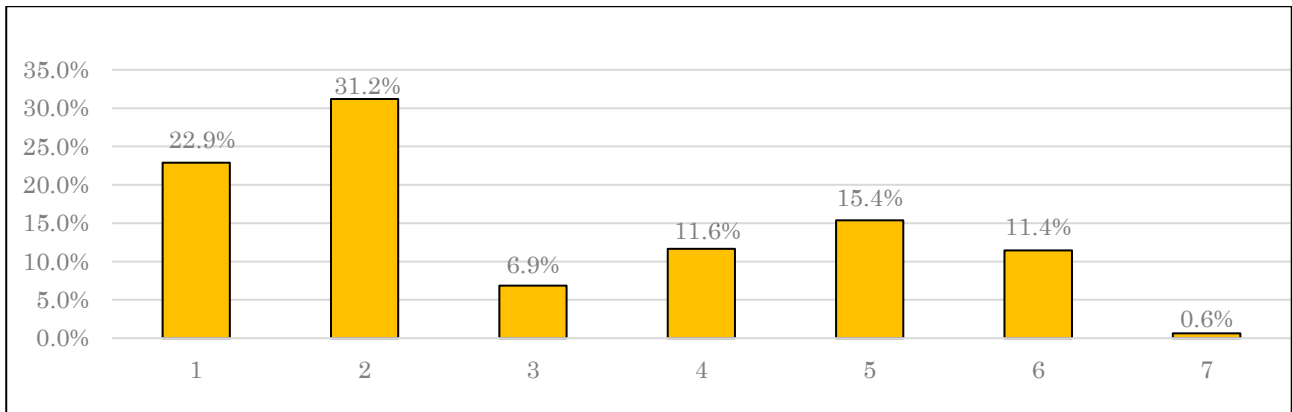


X 今後、社会教育行政に望むこと

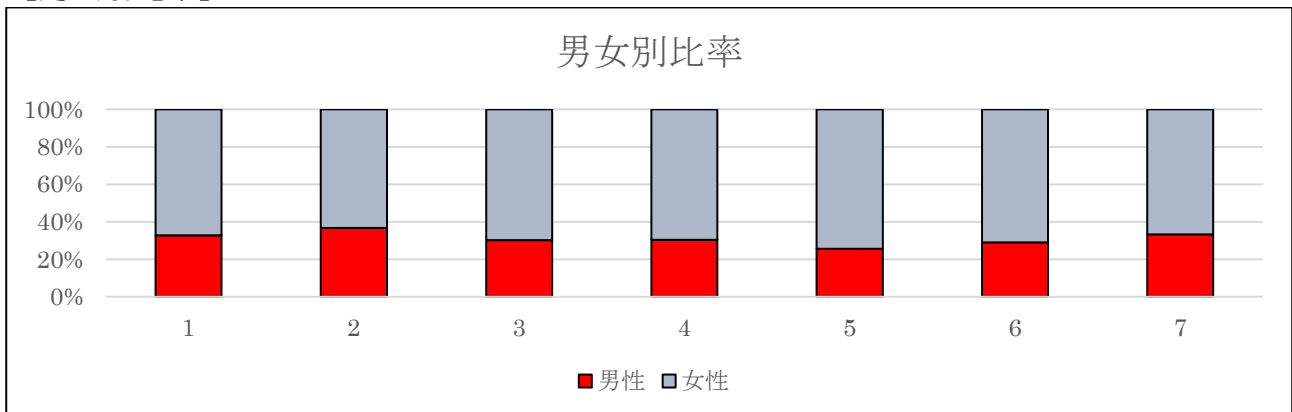
問31 今後、社会教育を推進するにあたり、どのようなことを望みますか。（複数可）

- ① 学習に関する情報提供
- ② 学習施設の整備
- ③ 学習の成果を生かす場や機会の提供
- ④ 学習サークル・団体の育成
- ⑤ 学習活動に関するイベント（講習会、芸術鑑賞等）の開催
- ⑥ 学習活動を支援する人材の確保、養成、派遣
- ⑦ その他（ ）

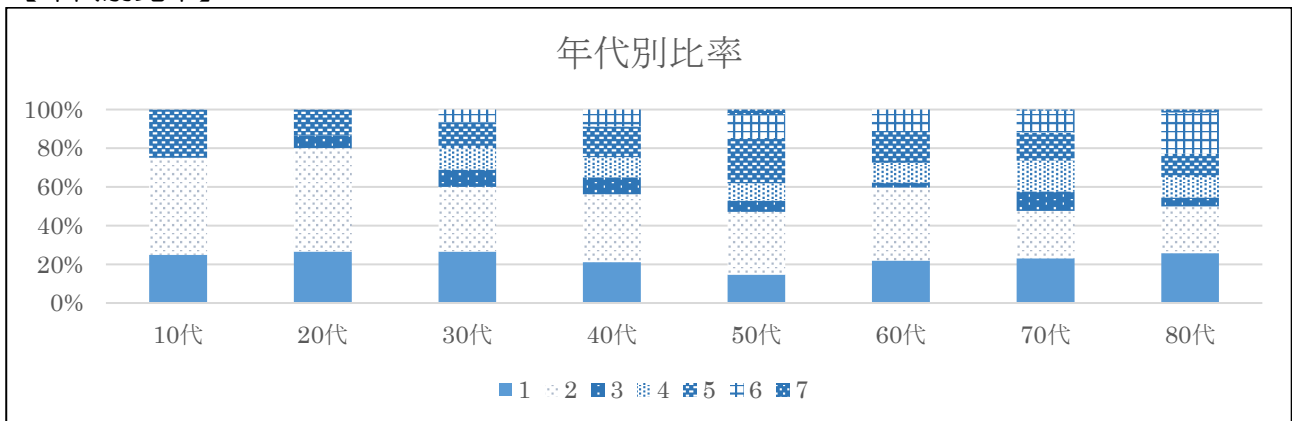
【学習施設の整備に対する要望の割合が増加。】



【男女別比率】



【年代別比率】



○各設問のその他記入内容

問4	<ul style="list-style-type: none"> ・古着のぬいもの（80代女性）
問5	<ul style="list-style-type: none"> ・手話、ふまねっと（60代女性） ・手話（70代女性） ・何をするにも交通の便が悪く参加出来ない（80代女性）
問6	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークで行っている講座（40代女性） ・専門雑誌（60代男性） ・ふまねっと（60代女性）
問7	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しむため（60代男性）
問11	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が希望する内容にあまり合わない（60代女性） ・余市の老人にあっていない講座が多い（80代女性）
問12	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸教室（70代女性） ・70代、80代の生き方にあった本当の学びの場がない。もっともっと掘り下げなければならない。（80代女性） ・ゴミの処理の仕方（80代女性）
問13	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが足りないのだと思います。どれもこれもまとはずれです。（80代以上女性）
問15	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に知りたい（80代女性）
問17	<ul style="list-style-type: none"> ・読書、子供の付きそい（40代女性） ・サークル活動（70代女性）
問18	<ul style="list-style-type: none"> ・視力が弱くなったため、文字を読む気力が起きない。（60代女性） ・家にある本を読んでいた（60代女性） ・コロナ予防のため（80代男性） ・足が悪くなり行けなくなった（80代女性）
問24	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ体操（80代女性）
問25	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ（40代女性7名、50代女性1名、70代女性3名） ・ウォーキング（40代女性2名、50代男性2名、50代女性2名） ・ぼっちゃん（50代男性） ・マラソン（60代女性） ・トレッキング、フットパス（70代男性） ・テニポン（70代男性）
問26	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館（70代女性、2名） ・勤労青少年ホーム（80代女性） ・地域の会館（80代女性）
問27	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉（70代男性） ・琴（80代女性、2名） ・料理について学びたい（80代女性）
問28	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホーム（60代女性）

問30	<ul style="list-style-type: none"> • 勤労青少年ホーム（60代女性1名、80代女性1名） • プールを新しくしてほしい（60代女性） • 町民プール（70代女性、3名） • トイレ（70代女性） • 料理学習なども（80代女性）
問31	<ul style="list-style-type: none"> • 予算の確保（50代女性） • 美術館、公民館を新しく建設（70代男性） • 交通の便（80代女性）
問32	<ul style="list-style-type: none"> • 学習したいこと 介護保険のシステムや利用方法 札幌の美術館や博物館、ウポポイ等へのバスツアーがあれば有料でも参加 したいです。（50代女性） • スマホ教室、パソコン教室（60代女性） • 図書館の図書の充実（新刊の購入を）（70代男性） • 高齢者の話をよく聞くことです。（80代女性）

○社会教育（生涯学習）に対する、ご意見・ご要望がありましたら記載下さい。

<p>1・子供たちの活動（スポーツ、芸術文化活動）にもう少し力を入れてほしい。どのような団体が、どのような活動をしているかも不明なので、町で（広報など）情報発信を行ったらどうでしょうか。デジタル依存（スマホ）も問題視されているので、そういった活動に子供たちや保護者が興味を持ち、活動してくれたらと思います。</p>
<p>2・施設が古すぎて、夏は暑いし、冬は寒い。階段しかない施設もあって参加できない人もいるのではないのでしょうか。仕事をしてる人でも参加しやすいイベントの開催があればうれしい。</p>
<p>3・やってみたいと思っても夜はやっていない事が多いのでやる機会がありません。</p>
<p>4・女性学級というのがありますが、正直魅力を感じません。 町民学級なら行ってみたいです。女性ばかりが社会福祉を学習するのではなく、男性もサークル活動やボランティアに参加してはどうでしょうか。 生き方の多様性の時代です。主夫もいるかもしれません。</p>
<p>5・図書館員のあいさつ、もう少し笑顔ではっきりとして欲しいですね。（一部の方だとおもいますが） 設備の予算も少なくなっているのでしょうか、公民館の備品のこわれているところが目立ちます。</p>
<p>6・社会教育推進の為、予算をしっかりと確保して推進してほしい。町民が利用しやすいように公民館利用料の減免を見直してほしい。</p>
<p>7・施設の件で、中央公民館の故障中のトイレを早く修理して下さい。 それと、洋式のトイレに直して下さい。パソコン教室は是非必要です。 個人でのレッスンは一人1回5千円しました。（数年前）ですから、公民館で数名単位でも良いのでよろしくお願いします。人生は100才時代ですので。</p>
<p>8・ビジョンと信念を持った情熱的なリーダーの現れることを願ってます。 状況を良い方向に変えるためには、一番大事な必要条件ではないのでしょうか。</p>
<p>9・町内の各施設の老朽化が著しい、予算予算とばかり言っていないで文化面にも手厚い予算を望みます。各施設のスタッフがもっと積極的に管理運営に心も手間もかけるべき、ただ事務室の椅子に座っているだけが仕事ではないでしょうに。</p>
<p>10・冬は寒いので、2時間くらい前からストーブをつけてほしい。 寒くて風邪をひいてます。</p>
<p>11・公民館の冬場（暖房が機能していない部分がある） 公民館の夏場（窓の開閉が容易でない）</p>
<p>12・公民館の建て替え、もしくは設備の充実 ○足腰の悪い高齢者のための水洗トイレ ○エアコンの設置 ○照明の暗すぎる部屋がある 設備が貧弱だとモチベーションも下がります。</p>

<p>13・現在、中央公民館で行われているサークル、愛好会などに参加しております。健康づくりや知らない方とのコミュニケーションも大変楽しくて、毎週参加しております。少しでも長くつづけられる様に頑張りたいと思います。</p>
<p>14・もっと若い時に生涯学習に数種類参加いたしました。その中で得た知識、実技を元に今はボランティア活動をさせて頂き、今新たに生涯学習として取り込む予知がなく、日々忙しく充実した生活をすごしております。</p>
<p>15・陶芸に興味がある。陶芸サークルを作って欲しい。場所、窯をぜひお願いしたい。</p>
<p>16・公共施設の利用料値上げは良くなかった、社会教育の振興のため反対である。</p>
<p>17・高齢化が進むこの町で、どんな生涯学習を考えているのか良くわからない！お金のかからない物ばかりに見えます。高齢者向けの体操ばかりが目立ちます。やりたい物があってお願いしてもお金がないで終わる、生きがいづくりを考えるのであれば、もっと意見を聞き考えて欲しい！ ワインばかりで生きがいづくりにはならない！</p>
<p>18・いろいろな人（若者、高齢者など）が安い料金でもしくは、町民はただで使用できることを望みます。施設のトイレを和から洋にしてほしいです。</p>
<p>19・色々に参加したいと思いを考えるのですが、生活の事、外出で歩いて、そこまで行く事は何かにつけ大変ですので、家の中で過ごすこと時間が多くなります。</p>
<p>20・今まで子供、孫達の成長を楽しみに生活してましたが、子供、もちろん孫たちも、それぞれ職につき頑張っていますので、私は高齢ですが、これからは私一人生活なので楽しく前向きに生きて行きたいと思い、いろいろな会、行事に参加しています。よろしく御願い致します。</p>
<p>21・余市は大変高齢者の生き方において、おくれていると思います。 元気に歩ける人の事しか考えてないです。本当に考えなければならぬ事は、一人で出歩けない家にこもりがちの人をどうするか、認知を少しでも遅らせるにはどうするか？考えることはたくさんあると思います。 もっと身近で話し合いたいです。やるべき事はあると思います。早く動かないと余市町手おくれになります。</p>
<p>22・バスを利用しています。特に冬は早めに来る様にしています。時間に余裕を持って来ていますが、部屋が空いていても中には入れません。5分、10分早く着いた時は使用出来る様にしてほしいです。</p>
<p>23・老齢になり近くに利用出来る場所が必要だと思う。 寿大学で図書の本を公民館で利用出来たのがよかったです。 電子図書、申し込みましたが、私にはひつようがないのがわかり解約するつもりです。コロナで一年、二年、施設を使えなかった。なるべく聞いてほしい、男性の集まる、参加出来る様な行事等、カラオケ、パークゴルフ以外で</p>
<p>24・暖房設備の充実</p>
<p>25・免許返納後は動きがとれない。 巡回バスもなく、デイサービスの送迎バスだけではなさない。</p>

余市町社会教育委員の会議
委員長 金 澤 治 様

余市町教育委員会
教育長 前 坂 伸 也

第7次余市町社会教育中期計画案の策定について（諮問）

このことについて、次のとおり理由を付して諮問いたしますので、答申くださいますようお願いいたします。

（理 由）

余市町教育委員会は、第6次余市町社会教育中期計画を指針として、社会教育の振興に努めてまいりました。

この間、社会情勢は、人口減少や少子高齢化、感染症防止対策、技術革新の進展など急速に変化しております。

いま、第6次余市町社会教育中期計画の最終年次にあたり、人生100年時代を健康で心豊かに生きて行くため、社会の変化に対応できるよう生涯学習を通じ、町民相互のつながりを重視した社会教育の取り組みが重要であります。

このことから、町民が学習した成果を社会に活かし、幸せを実感できる生涯学習社会を実現することを目的として、令和6年度以降の推進方策を導き出すため「第7次余市町社会教育中期計画」の策定について諮問いたします。

○計画策定の観点

余市町社会教育振興のための社会教育中期計画について

- ① 余市町の社会教育の現状と課題について
- ② 今後の余市町の社会教育振興方策について

○計画の期間

令和6年（2024年）4月から令和11年（2029年）3月までの5年間

余社委第1号
令和6年1月17日

余市町教育委員会
教育長 前坂伸也様

余市町社会教育委員の会議
委員長 金澤 治

第7次余市町社会教育中期計画について（答申）

令和5年12月26日付けで諮問のあった「第7次余市町社会教育中期計画案」について別添のとおり答申します。

記

第7次余市町社会教育中期計画の策定については、余市町民憲章の精神を踏まえ、第5次余市町総合計画における基本理念のメインテーマである「未来に向けて住みやすいまちをつくる」にふさわしい生涯学習社会の実現をめざして、社会教育委員の会議において第6次余市町社会教育中期計画における反省と評価、社会教育の現状と課題、更には長期的な視野に立った施策のあり方について審議を重ね、その結果を本答申としてまとめました。

今後の社会教育の推進にあたっては、本答申の趣旨が生かされ、また、町民のニーズに対応した社会教育が更に発展し、町民の主体的な学習活動に寄与されますことを期待いたします。

第7次余市町社会教育中期計画策定経過

年 月 日	策 定 経 過
令和5年 5月18日	余市町議会総務文教常任委員会 計画策定の概要、スケジュール報告
5月25日	教育委員会第5回定例会 計画を策定する議案を提出
6月15日	第1回作業部会
6月22日	第2回作業部会
6月23日	教育委員会第6回定例会 町民意識調査（アンケート）議案を提出
6月26日	町民意識調査（アンケート）実施 6月26日～8月4日
7月19日	第1回社会教育委員の会議 計画策定の概要、スケジュール報告
8月 7日	第3回作業部会
9月26日	第4回作業部会
10月 2日	第2回社会教育委員の会議 アンケート結果、第6次計画における施策の現状について報告
10月31日	第5回作業部会
11月 8日	社会教育委員の会議（臨時会） 計画素案について協議、パブリックコメントの実施予定について報告
11月14日	余市町議会民生教育常任委員会 計画素案、アンケート結果、第6次計画における施策の現状、パブリックコメントの実施予定について報告
11月28日	教育委員会第11回定例会 計画素案、アンケート結果、第6次計画における施策の現状、パブリックコメントの実施予定について報告
11月29日	パブリックコメントの実施 11月29日～12月28日
12月26日	第3回社会教育委員の会議 教育委員会教育長から社会教育委員の会議委員長へ計画案策定について諮問
12月27日	教育委員会第12回定例会 計画案策定の諮問について報告
令和6年 1月17日	社会教育委員の会議委員長から教育委員会教育長へ計画案の答申 パブリックコメントの実施結果を周知（提出意見無し）
1月26日	教育委員会1月定例会において、答申の報告及び計画の決定
2月15日	余市町議会民生教育常任委員会へ計画決定の報告
3月～4月	第7次余市町社会教育中期計画 町民及び関係機関へ周知